

北谷町 ニライの都市構想会議報告書

目 次

1. 会議開催の目的 1
2. 実施日 1
3. 会議の概要 1
4. 会議の役割とお願い 2
5. 総合計画策定のプロセス 3
6. 総合計画の位置づけ 4
7. 総合計画の構成 5
8. 第五次総合計画・基本構想のまちづくりの基本理念 将来像 6
9. 第五次総合計画の主な成果と課題 7
10. 第五次総合計画の評価 20
11. 北谷町の特性 21
12. 住民アンケートにみるニーズ 24
13. いまの注目すべきこと 30
14. 各会場の会議要旨 33

1. 会議開催の目的

北谷町の将来のあり方を住民の皆様からご意見をいただき、第六次北谷町総合計画の策定に生かしていくことを目的に実施しました。

2. 実施日

実施日	会場	参加者(人)
令和2年7月10日(金)10時～	謝苺区公民館	11
令和2年7月10日(金)18時～	上勢区公民館	18
令和2年7月11日(土)10時～	桃原区公民館	16
令和2年7月11日(土)14時～	栄口区公民館	16
令和2年7月11日(土)18時～	桑江区公民館	9
令和2年7月12日(日)14時～	北玉区公民館	9
令和2年7月18日(土)10時～	北前区公民館	9
令和2年7月18日(土)14時～	宮城区公民館	13
令和2年7月18日(土)18時～	砂辺区公民館	10
令和2年7月19日(日)10時～	宇地原区公民館	15
令和2年7月19日(日)14時～	美浜区公民館	17

※コロナ禍の中で、参加人数の制限をして会議を行いました。全会場で143名の参加がありました。

3. 会議の概要

進め方(全体で2時間を予定しています。)
<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 第五次北谷町総合計画の成果と課題を報告いたします。3. 本年実施したアンケート調査(町民、高校生、転出者)の結果(概要)について報告いたします。4. 2. 3. についての質疑応答5. 町の将来像をはじめ今後の各施策についてのご意見・意見交換6. 閉会

4. 会議の役割とお願い

ニライ都市構想会議の役割とお願いしたいこと

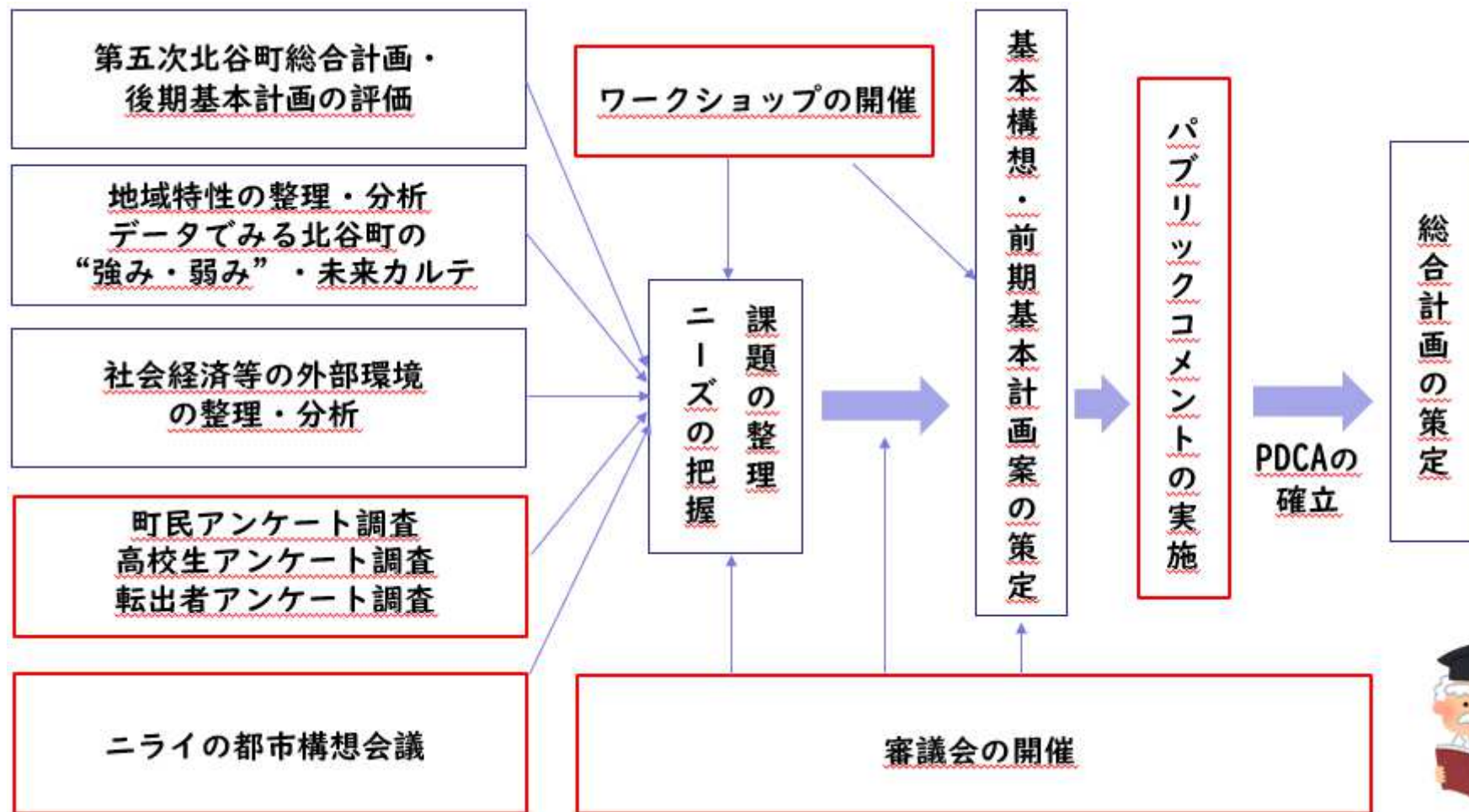
自分たち・子どもたちの将来のため
「将来こういう北谷町でありたい・こうなって欲しい!」
その実現に向かっていくために

① 客観的視点
② 広い視野
で考えてもらいたいのです!



基本構想（北谷町の将来像）の基礎に!

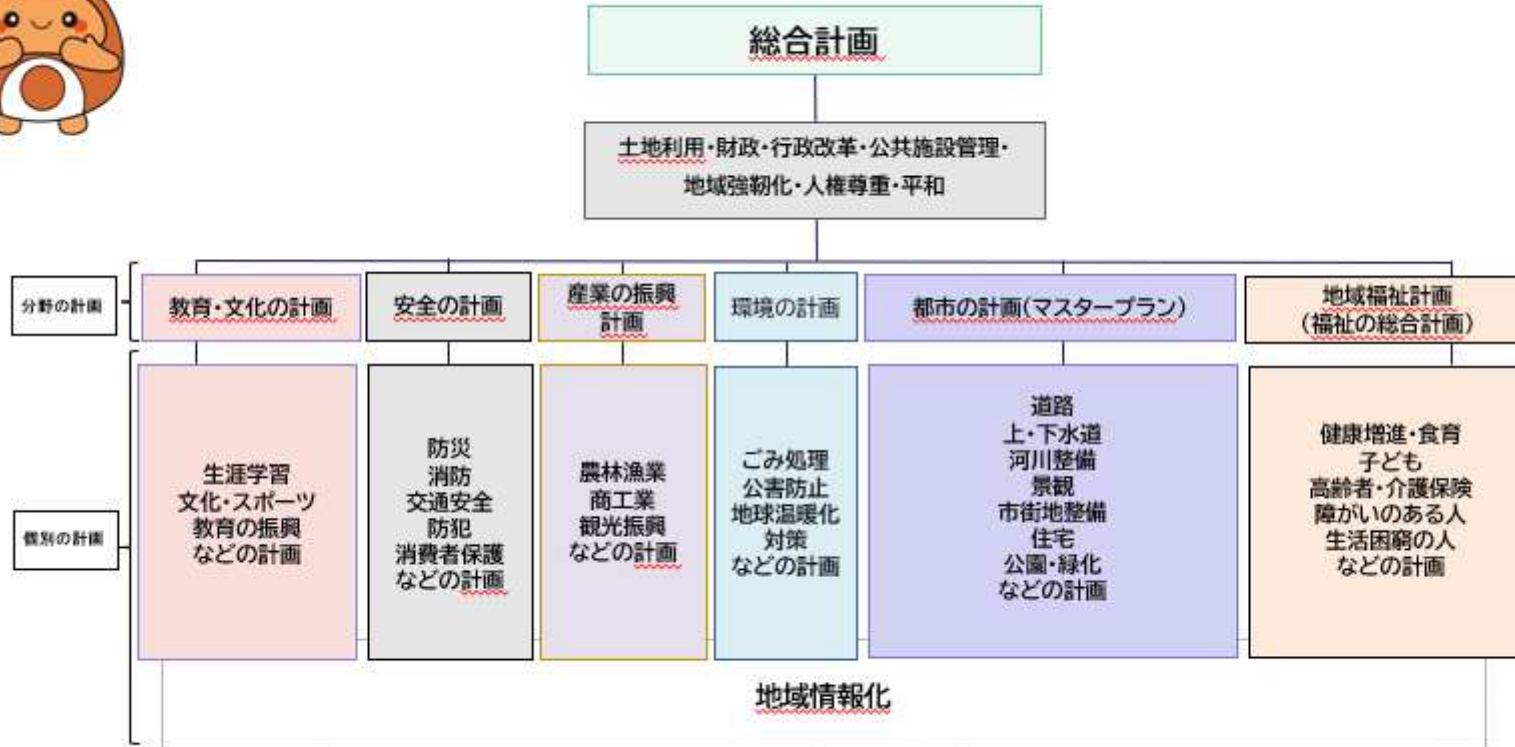
5. 総合計画策定のプロセス



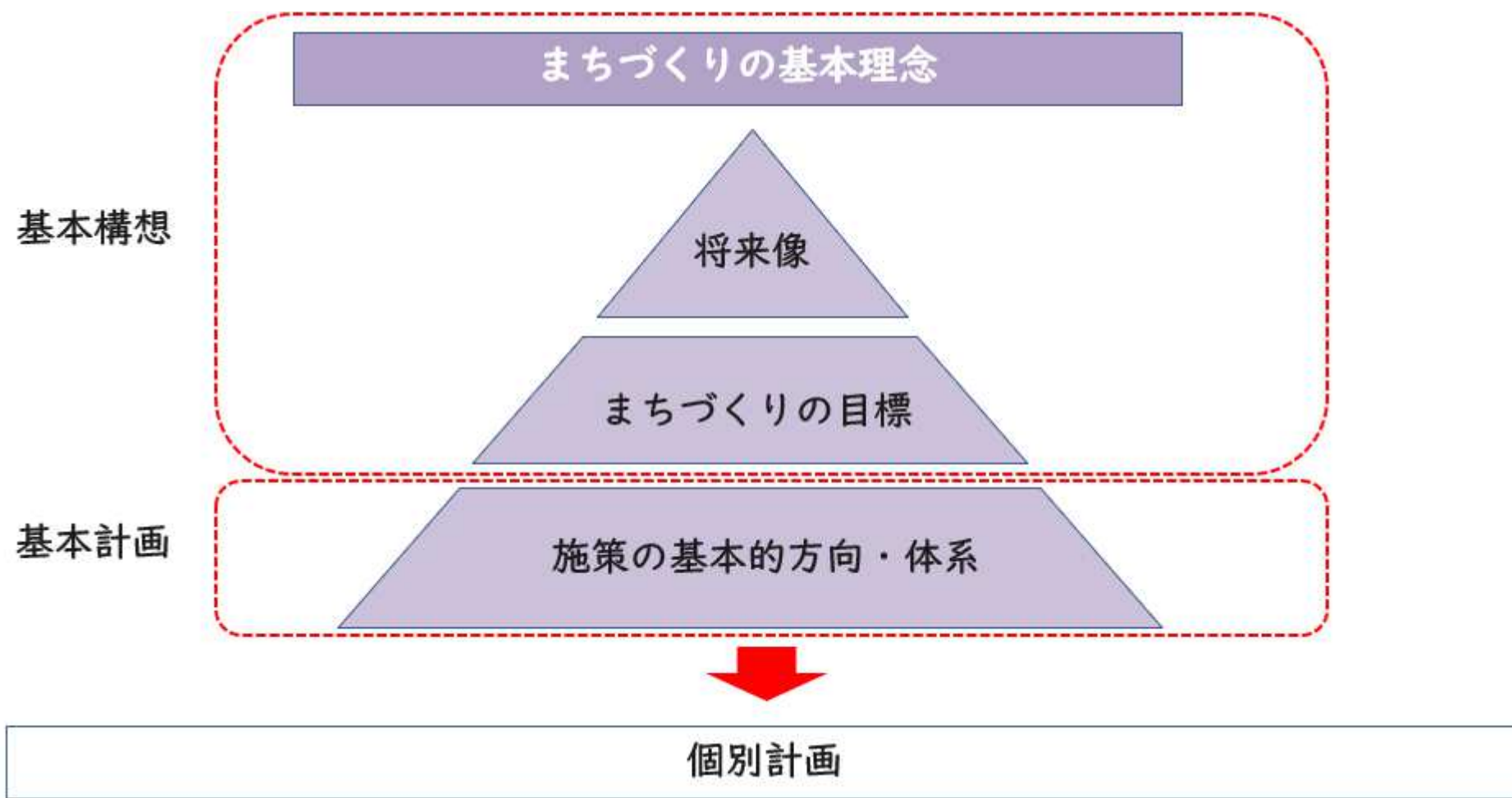
※赤で囲った部分が住民参加の部分です。



6. 総合計画の位置づけ



7. 総合計画の構成



8. 第五次総合計画・基本構想のまちづくりの基本理念 将来像

<まちづくりの基本理念>

『ニライの都市（まち）』
～自然と人間が調和した、
創造性豊かな活力ある民主的な地域社会～

<将来像>

夢ひろがる 人つながる とともに生きる
ニライの都市（まち）・北谷

<まちづくりの目標>

- まちづくりの目標1 平和の心を育み、個性が輝くまち
～『平和・男女共同参画』～
- まちづくりの目標2 夢が生まれ活気あふれる元気なまち
～『産業・経済・跡地利用』～
- まちづくりの目標3 色々な絆で支え合い誰もがいきいきと住み続けられるまち
～『健康・子育て・福祉』～
- まちづくりの目標4 誰もが住みたくなる快適で安全・安心なまち
～『街づくり・防災・防犯』～
- まちづくりの目標5 自然とともに生きるまち
～『環境・自然』～
- まちづくりの目標6 豊かな心と夢あふれる教育・文化・スポーツのまち
～『教育・文化・スポーツ』～



9. 第五次総合計画の主な成果と課題

まちづくりの目標 「平和の心を育み、個性が輝くまち」

基地が存在することで発生する問題の解消に努めるとともに、住民一人ひとりが真に平和な社会を目指しながら、平和の心が次世代へと継承されるまちを目指します。

また、お互いの立場を思いやるとともに、多様な文化や価値観を認め合い、尊重し合うことで、住民一人ひとりの個性が輝くまちを目指します。

□主な成果

- ・毎年10月22日から31日までの平和推進旬間において平和推進事業を実施
- ・北谷町出身の移住者やその子弟を歓迎する「世界のチャンチュ歓迎会」を実施（平成28年度 第6回世界のウチナンチュ大会と合わせて実施）
- ・北谷町男女共同参画推進条例を制定（平成28年4月）



■主な課題

- ・若い世代になるほど、平和教育に関する関心が低くなるため学校と連携するなど工夫が必要。
- ・米軍基地から派生する航空機の騒音問題や有害物質等による環境汚染問題、軍人・軍属等による事件・事故等の解決に向け、三連協や軍転協、その他関係機関との連携により粘り強く要請を行う必要がある。
- ・町内にある戦跡、慰霊碑、記念碑の周知広報を強化して、町全体で平和を発信する体制を構築する必要がある。
- ・海外との様々な分野の交流活動や住民と外国人住民の交流の場の設定に努める必要がある。
- ・男女共同参画についての情報発信力が十分でない など

まちづくりの目標2 「夢が生まれ活気あふれる元気なまち」

本町の海の資源を活かしたウォーターフロントの形成を目指す西海岸地域を中心にアジアを代表する観光拠点の形成を目指します。

さらに、著しい経済発展を続けるアジアも視野に入れた特産品やアート等、様々な分野での北谷ブランドの創出や北谷の文化力を活かした産業振興を図ることで、新たな可能性を求めて多くの事業者が集う、夢が生まれ活気あふれる元気なまちを目指します。

□主な成果

- ・ 北谷エンターテイメント・パークシティー推進プロジェクトの実施（平成28年から平成30年）
- ・ 町公式 観光ポータルサイト「北谷日常」を開設（平成29年度）
- ・ フィッシャリーナ整備事業の推進（平成25年ヒルトン沖縄北谷リゾート竣工、平成28年7月フィッシャリーナ地区土地処分完了、令和2年度全誘致企業開業）
- ・ 町民農園の整備による生きがい農業の振興（平成27年度から）
- ・ 桑江伊平土地区画整理事業の推進（平成23年9月第1期使用収益開始、平成25年3月第2期 使用収益開始、平成30年3月第3期使用収益開始、令和元年5月、第4期使用収益開始（その1））



■ 主な課題

- ・魅力ある観光リゾートの形成を目指し、町、観光協会、民間事業者等の役割分担を明確にし、各主体の特徴を活かしながら連携・協働する必要がある。
- ・既存スポーツ施設のさらなる有効活用、スポーツイベントの誘致・実行に取り組んでいく必要がある。
- ・町特産品の商品化（販売計画等）の支援を行っていく必要がある。
- ・漁業経営の安定化及び担い手の育成を図るため、地元漁協連携のもと、つくり育てる漁業への転換に努めていく必要がある。
- ・返還予定であるキャンプ桑江南側地区について「知の拠点」を含んだ基本構想及び基本計画を策定する必要がある。
- ・引きこもり、8050問題への対応 など

まちづくりの目標3 「色々な絆で支え合い誰もがいきいきと住み続けられるまち」

障がい者や高齢者等が必要な支援を受けながら、自分らしい生活を送ることができるまちづくりに取り組むとともに、子どもたち一人ひとりを大切に育てていく社会の形成に努めます。

また、健康に対する意識啓発や介護予防に積極的に取り組むことで、住民誰もが生き生きと暮らすまちを目指します。

□主な成果

- ・ 特定検診受診率向上及び生活習慣病重症化予防対策として、町内医療機関及び各自治会との連携強化、AI等を活用した受診勧奨を実施
- ・ 令和2年4月1日から母子健康包括支援センターを開設。
- ・ 平成28年度宮城児童館放課後児童クラブを整備。放課後児童の居場所づくりを推進。
- ・ 子どもの貧困対策事業を実施（ちーたん塾の開設や地域子ども食堂等への補助）
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けた各種事業を推進。自助・互助の活動についての普及啓発。



□主な課題

- ・がん検診、特定検診ともに受診率が目標値に届いておらず、更なる取組が必要
- ・待機児童解消に向け、更なる保育の受け皿整備が必要
- ・各小学校区に放課後児童クラブ整備を進めていく必要がある。
- ・虐待の発生率は高いと考えられるが、要保護児童等を始めとする相談及び支援体制の仕組みが不十分な状況である。
- ・何らかの生活支援が必要となってくる高齢者が増えていくなか、住民同士の支え合いの体制を構築していく必要がある。 など

まちづくりの目標4 「誰もが住みたくなる快適で安全・安心なまち」

道路や公園を始めとした生活基盤整備を推進するとともに、各地区の特性を活かした景観形成や住民との協働による花と緑があふれるまちを目指します。

また、公共施設や道路等のバリアフリー化や公共交通機関等の充実を図ることで、快適に生活できる誰もが住みたくなるまちを目指します。

住民一人ひとりの防災意識・減災対策に対する関心を高め、危機管理対応能力の強化を図るとともに、地域での災害時要援護者の見守り体制の構築を進めることで、災害に強いまちづくりに取り組みます。

また、消防・救急体制の強化、防犯対策や交通安全対策及び消費保護の充実による安全・安心なまちを目指します。

□主な成果

- ・北谷町住生活基本計画・空家等対策計画の策定
- ・町営砂辺住宅建替事業の実施
- ・桑江17号線の整備を実施
- ・平成29年度より北谷町コミュニティバスの実証運行を開始
- ・町内の各自治会、防犯ボランティア団体などによる巡回パトロール等により、町内の刑法犯認知件数が平成15年をピークに年々減少している。（平成15年898件→平成30年218件）



■主な課題

- ・住生活基本計画及び空家等対策計画いずれにおいても策定した計画に基づき、具体施策を推進する必要がある。
- ・住居表示事業について、実施区域の住民との合意形成に向け、継続的に住民説明会を開催する必要がある。
- ・住宅の確保等の支援が必要。町内は家賃が高く、生活保護基準では借りることが出来ない。
- ・地域防災計画の見直しと地域住民の災害に対する防災意識の向上、訓練の充実が必要
- ・本町に滞在する観光客が一時避難する施設の確保や避難所への案内経路の作成が必要 など

まちづくりの目標5 「自然とともに生きるまち」

ごみ排出量の抑制やリサイクルの推進によるごみ減量化、自然エネルギーの活用促進等に取り組むことで、環境に配慮したライフスタイルの普及促進に努めます。

さらに、美しい海や河川等の身近な自然の保全を図るとともに、自然とともに生きるまちを目指します。

□主な成果

- ・新川自然ふれあい公園の整備により、本町に残された緑地の保全を図るとともに、住民憩いの場として活用することが可能となっている。
- ・ごみの分別・排出方法のパンフレットを作成。ごみの排出抑制、資源化の推進及び適性処理に関する普及啓発を実施。
- ・飼い犬の登録や狂犬病予防接種の促進、徘徊犬の捕獲や飼い主への飼い方指導を実施
- ・ハブ捕獲機の設置など、ハブによる脅威を取り除くための取り組みを推進



■主な課題

- ・ 沖縄県による北前海岸高潮対策事業について遅れが見られるため、早期実施に向け更なる要請を行っていく必要がある。
- ・ 白比川改修事業について、引き続き事業進捗に向けて沖縄県と調整を進めていく必要がある。
- ・ ごみの量が増加傾向にあるため、事業者への普及啓発活動を行うことにより、ごみの減量化・リサイクルを推進していく必要がある。
- ・ ペットによる住環境被害、地域トラブルを未然に防ぐため、北谷町飼い犬条例の周知やペットの飼い方等について更なる普及・啓発が必要である。 など

まちづくりの目標6 「豊かな心と夢あふれる教育・文化・スポーツのまち」

心の豊かさや生きる力を育み、子どもたちが我がまちに愛着と誇りが持てる教育の充実に取り組み、「学びのまち・北谷」を目指します。

また、住民一人ひとりが生きがいや地域の絆を感じられる生涯学習のまち、貴重な有形・無形文化財を保存継承するとともに、心の豊かさを実感できる創造性に富んだ魅力ある文化・芸術のまちを目指します。

さらに、国際化に対応したグローバルな人材育成を図るため、本町の特色を活かした魅力ある教育環境の実現に取り組みます。

□主な成果

- ・スクールソーシャルワーカー（2名）、心の教室相談員（各学校1名）を配置し、生徒指導上の課題対応や関係機関との連携を強化。問題行動の減少に繋がっている。
- ・老朽化した浜川小学校、北谷第二幼稚園の改築事業を実施し、安全・安心な教育環境の整備を推進している。
- ・AETの配置、英国派遣交流事業、ハワイ短期留学派遣等を実施し、人材育成に取り組んでいる。
- ・生涯学習の充実を図るため、生涯学習プランナーを配置し、時代のニーズにあった講座を計画している。
- ・国指定史跡 伊礼原遺跡の史跡整備を推進、北谷城についても国指定に向けた取り組みを推進している。



■主な課題

- ・心因傾向の不登校が増加してきているため、初期段階での発見、対応を充実させる必要がある。
- ・放課後子ども教室を担うボランティアの確保が課題となっている。
- ・就学援助について、周知が届かない、理解されない等の理由により、申請に至っていないケースがある。
- ・老朽化した学校給食センターの建替え事業の推進
- ・既存のスポーツ施設を積極的に活用した教室の実施
- ・民族伝統芸能の専門職員がおらず、支援体制が構築できていない など

「協働のまちづくり」と「行財政運営」

1) 協働のまちづくり

地域に愛着と誇りを持つ住民と行政が、共に知恵を出し合い、様々な地域課題の解決に向けて、明確な役割分担のもと協働のまちづくりに取り組みます。

また、住民が継続的に地域活動やまちづくり活動に取り組むことにより、地域の魅力を再発見し、やりがいを感じ、心地よい責任感を持ち、達成感を得ることで、住民が参加しやすい協働のまちづくりを進めます。

2) 行財政運営

景気の低迷や高齢化の進行等による人口構成の変化により、今後も厳しい財政状況はさらに続くものと見込まれます。時代の変化や複雑化・多様化する住民ニーズを的確にとらえるとともに、魅力あるまちづくりを進めるため、不要不急の事業の見直し、組織体制の強化等、効率的・効果的な行政運営を推進します。

また、中長期的な視点に立った財政見通しに基づいた財政運営を行い、将来にわたっての健全な財政の確保に努めます。

□主な成果

- ・行政懇談会を隔年ごとに実施し、町民ニーズに対応したまちづくりを推進している。
- ・パブリックコメント手続に関する要綱を制定し、町民の行政運営の参画を推進している。
- ・町公式ホームページを全面的にリニューアルし、ユニバーサルデザイン、多言語化に対応したシステムの構築を実施した。
- ・財政健全化に向けた取り組みを推進しており、県内市町村、類似団体と比較しても概ね好調を維持している。

■主な課題

- ・市内における協働のまちづくりの定義と具体的な取組内容についてさらに議論を深め、その必要性について認識を共有する
- ・ICT利活用に向けた取り組みの強化を図っていく
- ・あらゆる手法で歳入を生み出す“地域経営力”の向上が必要
- ・コスト意識を持ち、知恵と工夫による経費の節減・合理化を推進する必要がある。 など

10. 第五次総合計画の評価

担当課職員の間評価では、計画全体の評価点は**76.1点**となっています。

基本目標ごとの評価点は、

- 基本目標1『平和の心を育み、個性が輝くまち』が **78.6**
- 基本目標2『夢が生まれ活気あふれる元気なまち』が **70.9**
- 基本目標3『色々な絆で支え合い誰もがいきいきと住み続けられるまち』が **77.6**
- 基本目標4『誰もが住みたくなる快適で安全・安心なまち』が **81.4**
- 基本目標5『自然とともに生きるまち』が **67.7**
- 基本目標6『豊かな心と夢あふれる教育・文化・スポーツのまち』が **76.6**

●協働のまちづくりが **82.5**

●行財政運営が **68.3**

となっています。

計画全体中間評価結果 **76.1点**



11. 北谷町の特性

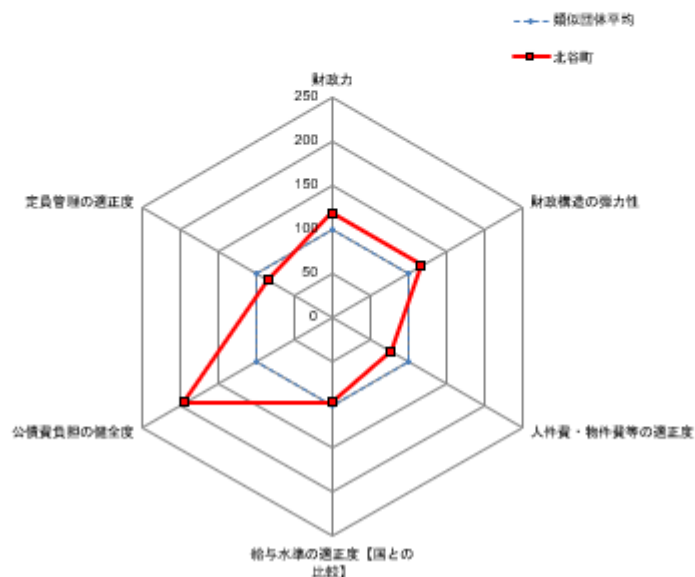
類似団体との比較

国は全国の市区町村を「指定都市」「中核市」「特例市」「都市」「町村」「特別区」に分類した上で、さらに「都市」「町村」を人口規模や産業構造で細分化、計35のグループに分けています。そのなかで同じグループに属する自治体を類似団体といいます。

北谷町の類似団体は、全国に99あります。

県内では、西原町、南風原町、八重瀬町などが該当します。

類似団体の平均値を100としたときの北谷町の指数（総務省公表資料）
平成30年度普通会計決算

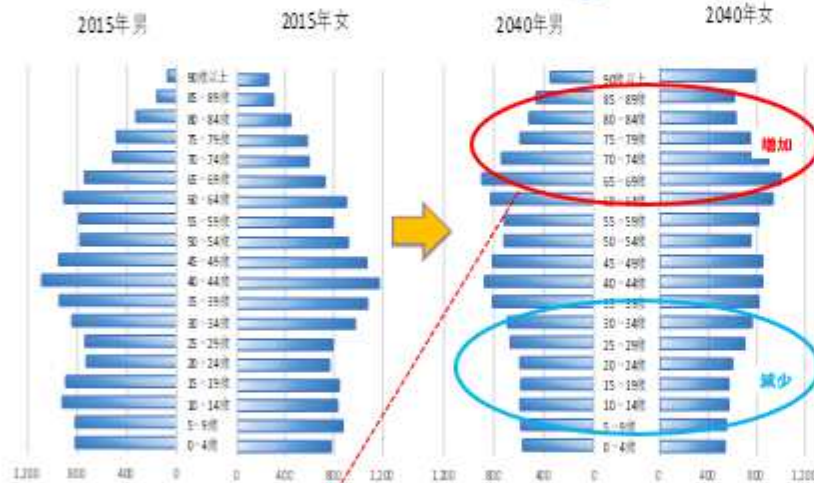


- 財政力は高く、類似団体内順位では25位。0.79(県平均は0.38)
- 経常収支比率は良く、財政の硬直化は見られていない。類似団体内順位では2位。
- 人件費・物件費の状況では、米軍基地から派生する騒音被害、軍人軍属による事件、事故等への対応、米軍基地返還跡地利用推進等の行政需要への対応のため高めになっている。類似団体内順位では88位。
- 人口千人当たり職員数では、上記と同じで高めになっている。類似団体内順位では74位。
- 公債費負担の健全度では、改善傾向が続いている。類似団体内順位では22位。
- 将来負担比率は、0であり、類似団体内順位では1位。

未来カルテ(抜粋)

このカルテは、社会保障・人口問題研究所の人口予測をベースとして、現在の傾向が継続した場合に、2040年に、産業、保育、教育、医療、介護がどのような状況になるかについて、シミュレーションした結果を示しています。

年少人口(0~14歳)と生産年齢人口(15~64歳)が減少しているのに対して、65歳以上の人口は増加しており、更に、75歳以上人口が増加しています。

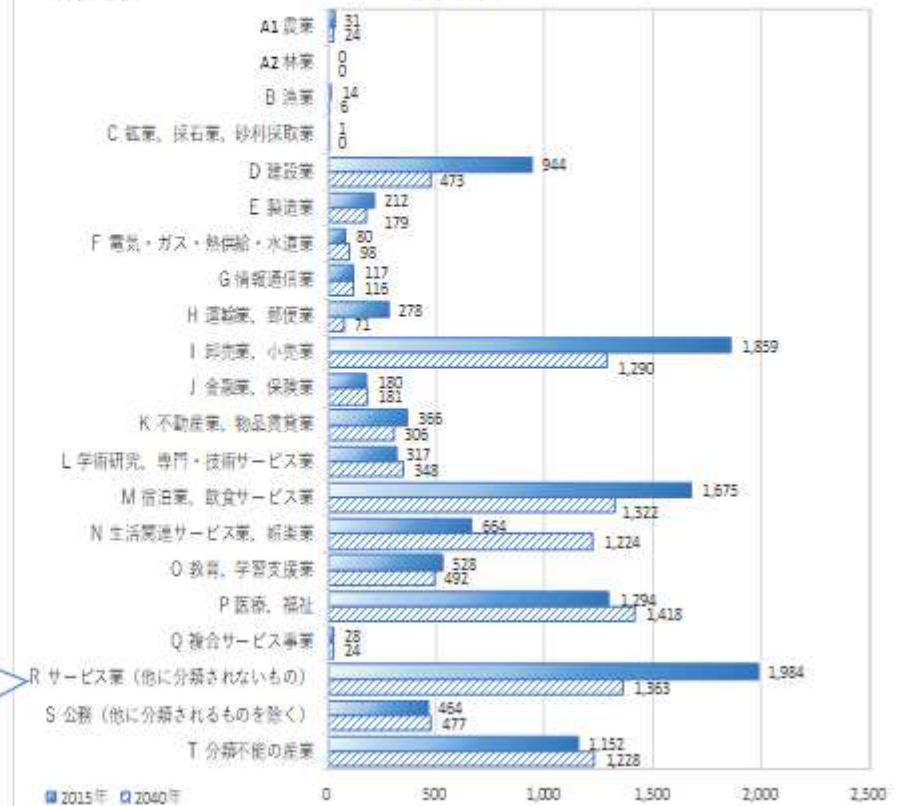


65歳以上人口の増加から、介護受給者数は2.45倍、認知症患者数も2.69倍となっていきます。

2040年でみると、サービス業、卸売業、小売業、建設業が大きく減少し、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉は増加する予測となっています。

(単位:人)

就業者人口



12. 住民アンケートにみるニーズ

「北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート調査結果 速報値」

●令和2年5～6月実施 18歳以上2,000人 無作為抽出 郵送配布・郵送回収 回収数 718票 回収率 35.9%

愛着度については、「愛着を感じている」(65.9%)と「愛着をやや感じている」(27.6%)を合わせた“北谷町に愛着を感じている”は93.5%。

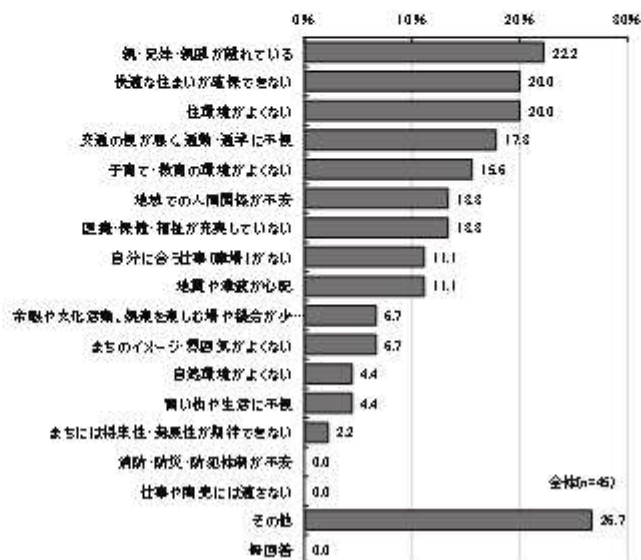
定住意向については、「住み続けたい」(69.9%)と「どちらかといえば住み続けたい」(22.6%)を合わせた“北谷町に住み続けたい”は92.5%と9割以上。

転出したいと答えた人は45人。

【“住み続けたい”理由】



【“転出したい”理由】



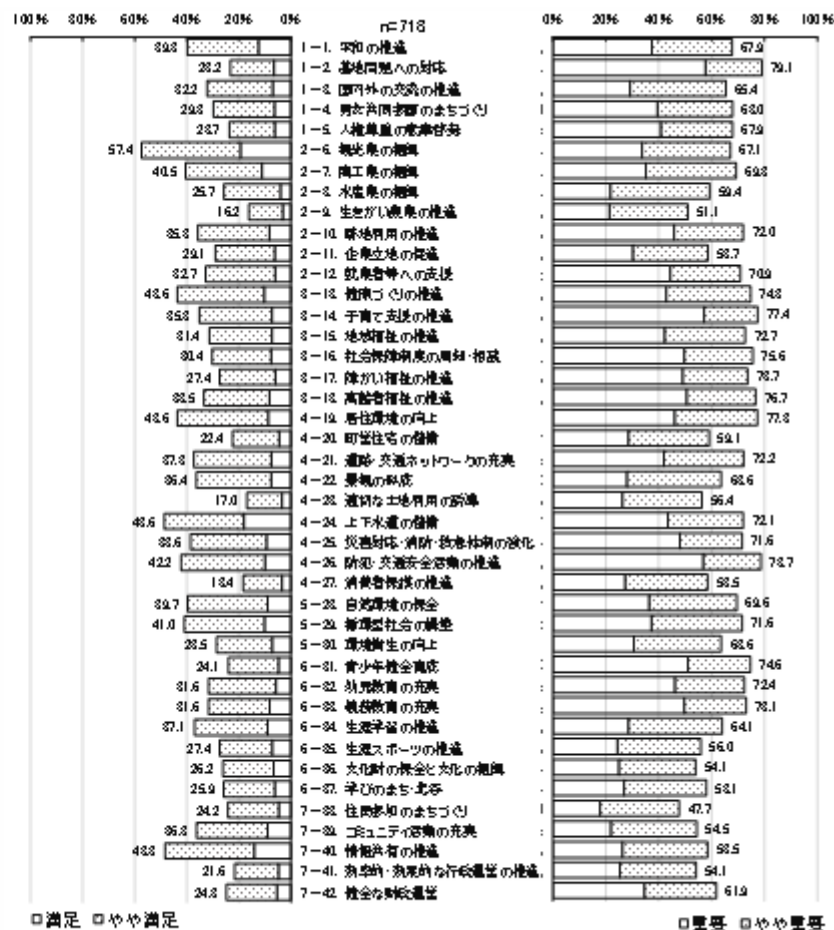
標本誤差

測定値(%)	標本誤差の1/2値(%)
50	3.7%
45・55	3.7%
40・60	3.6%
35・65	3.5%
30・70	3.4%
25・75	3.2%
20・80	2.9%
15・85	2.6%
10・90	2.2%
5・95	1.6%

満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた“北谷町での暮らしに満足”は、「観光業の振興」が57.4%と最も高く、「上下水道の整備」(48.6%)、「情報共有の推進」(48.3%)、「健康づくりの推進」と「居住環境の向上」(同じで43.6%)などの順。

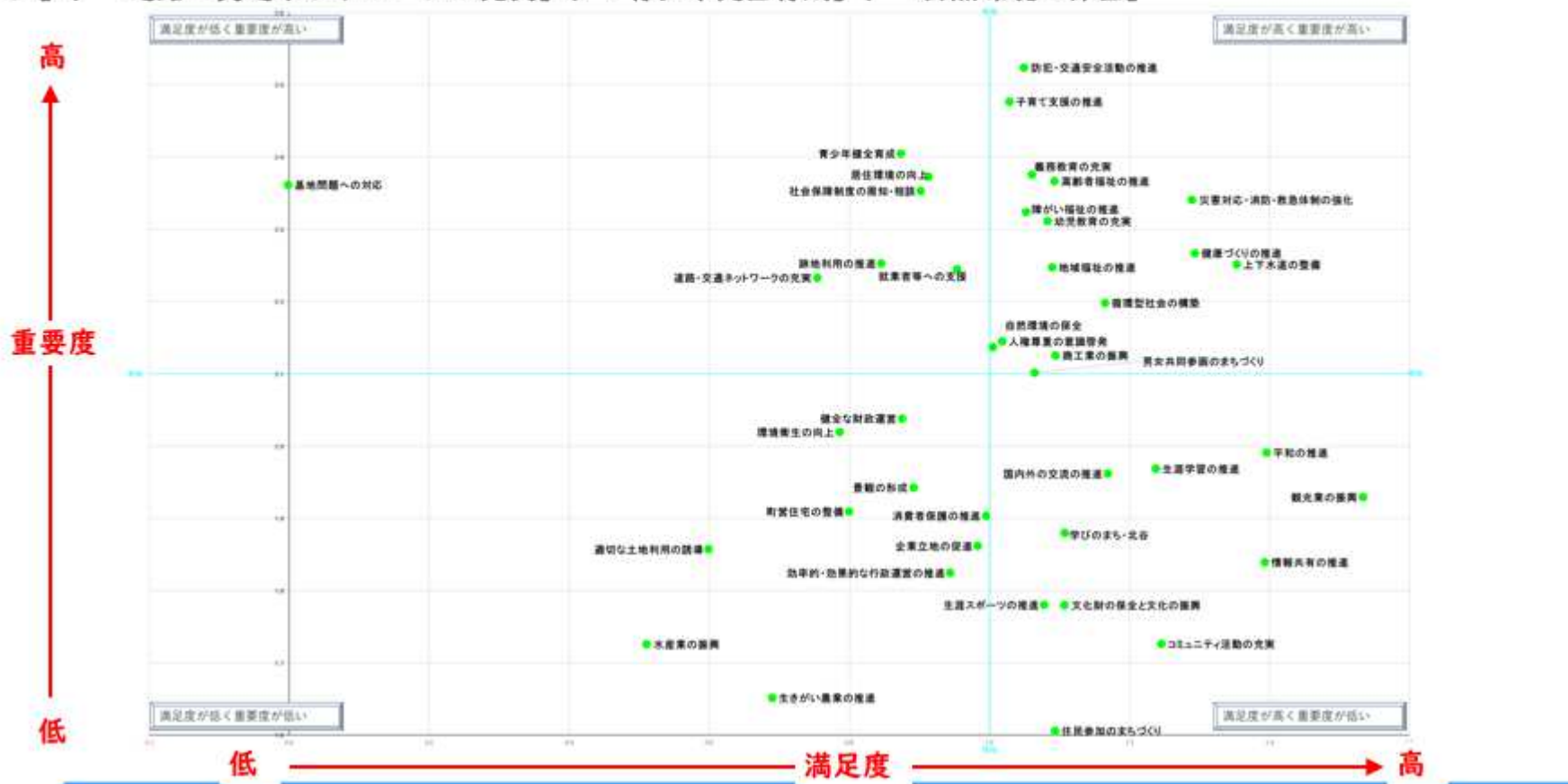
「やや不満」と「不満」を合わせた“北谷町での暮らしに不満”は、「基地問題への対応」が37.1%と最も高く、「水産業の振興」(23.0%)、「道路・交通ネットワークの充実」(20.9%)、「居住環境の向上」(18.7%)、「適切な土地利用の誘導」(17.9%)などの順。

重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせた“北谷町での暮らしに重要”は、「基地問題への対応」が79.1%と最も高く、「防犯・交通安全活動の推進」(78.7%)、「子育て支援の推進」(77.4%)、「居住環境の向上」(77.3%)、「高齢者福祉の推進」(76.7%)などの順。



● 『満足度が低く重要度が高い』について、全体では8項目

「基地問題への対応」、「跡地利用の推進」、「就業者等への支援」、「社会保障制度の周知・相談」、「居住環境の向上」、「道路・交通ネットワークの充実」、「青少年健全育成」、「自然環境の保全」

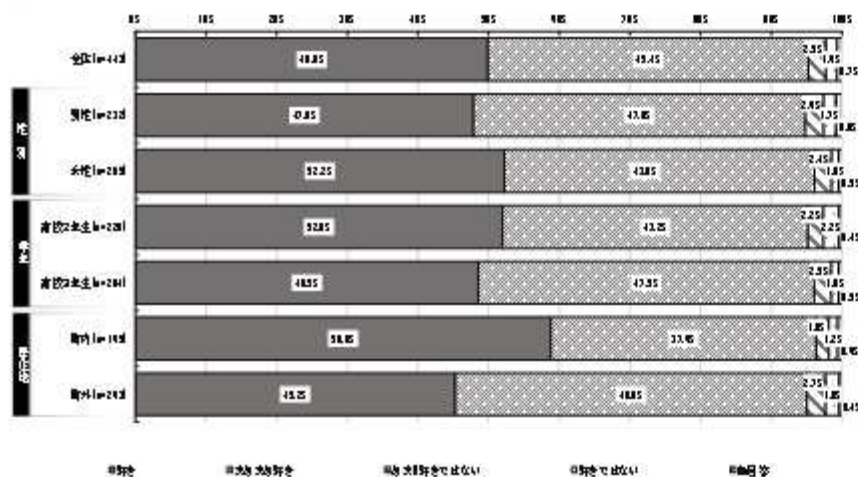


「北谷町の未来を考えるまちづくり高校生アンケート調査結果 速報値」

●令和2年6月実施 北谷高校の2・3年生生徒全員 学校を通じて配布・回収 回収数 443

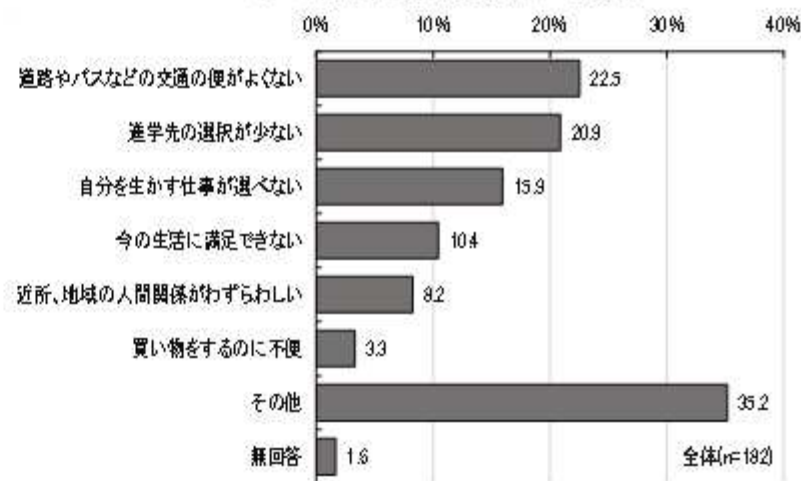
北谷町が好きかについては、「好き」(49.9%)と「まあまあ好き」(45.4%)を合わせた「北谷町が好き」が95.3%、「あまり好きではない」(2.5%)と「好きではない」(1.6%)を合わせた「北谷町が好きではない」が4.1%。

【“北谷町が好き”か】



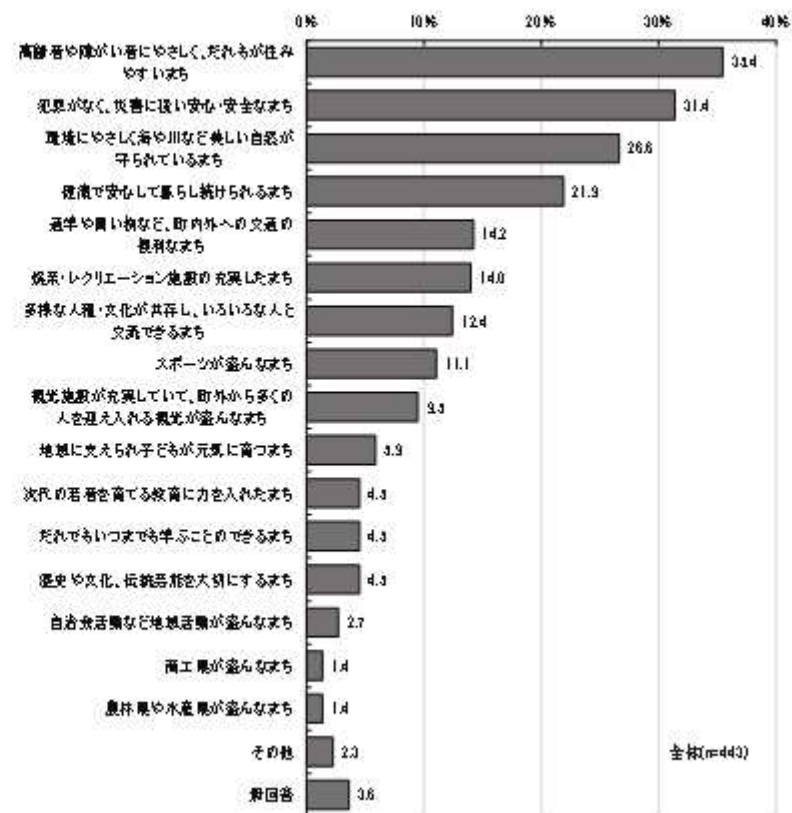
北谷町での居留意向については、「住みたい」(20.3%)と「どちらかといえば住みたい」(35.7%)を合わせた「北谷町に住みたい」は56.0%、「どちらかといえば住みたくない」(18.3%)と「住みたくない」(13.1%)を合わせた「北谷町に住みたくない」は31.4%。

【“北谷町に住みたくない”理由】



「北谷町の未来を考えるまちづくり高校生アンケート調査結果 速報値」

将来の北谷町については、
 「高齢者や障がい者にやさしく、だれもが住みやすいまち」が最も高く、次いで、
 「犯罪がなく、災害に強い安心・安全なまち」、
 「環境にやさしく海や川など美しい自然が守られているまち」、
 「健康で安心して暮らし続けられるまち」、
 「通学や買い物など、町内外への交通の便利なまち」などの順



「北谷町人口ビジョン改定に関するアンケート調査結果 速報値」

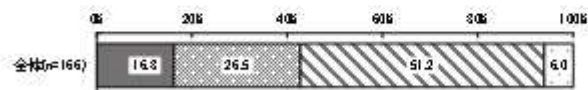
●令和2年1月から3月実施 町内から転出する人に窓口において配布・回収 回収数 166

転出先については、県内が69.9%、県外が25.3%。県内では「沖縄市」が18.1%と最も高く、次いで、「その他県内」(13.9%)、「那覇市」(8.4%)、「宜野湾市」(7.8%)などの順。

【新しく住む場所を決定した際に、重視した点】



【転出にあたって、北谷町内でも住まいを探したか。】

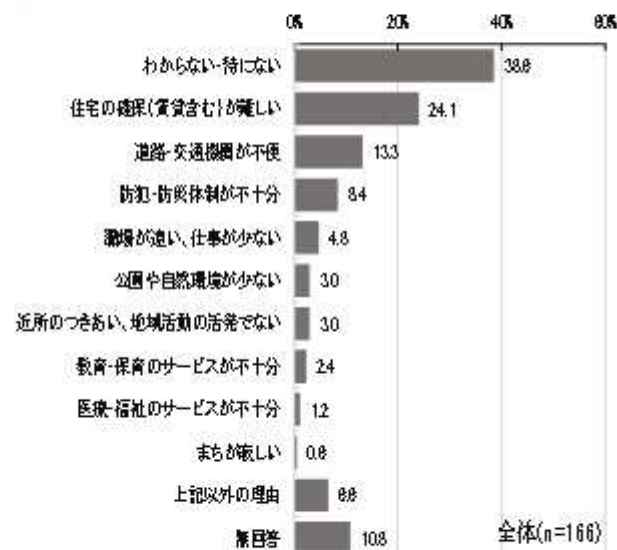


①町外に転出しようとしていたため、町内は探さなかった
 ②町内を探したが、適当な物件がないため町外に決めた
 ③転出先は、最初から町外に決まっていた
 ④無回答

【北谷町は全体的に住みやすいと感じたか。】

北谷町は全体的に住みやすいと感じたかについては、
 「とても住みやすい」が69.9%と最も高く、
 「まあまあ住みやすい」(22.9%)
 「どちらともいえない」(1.8%)
 「わからない」(1.2%)
 「やや住みにくい」(0.6%)
 「とても住みにくい」(0.0%)の順。
 地区別でみると、東部地区では「とても住みやすい」が西海岸地区より高くなっている。

【北谷町で特に住みにくいと感じた点】



13. いまの注目すべきこと

国連の目標:SDGs(Sustainable Development Goals)

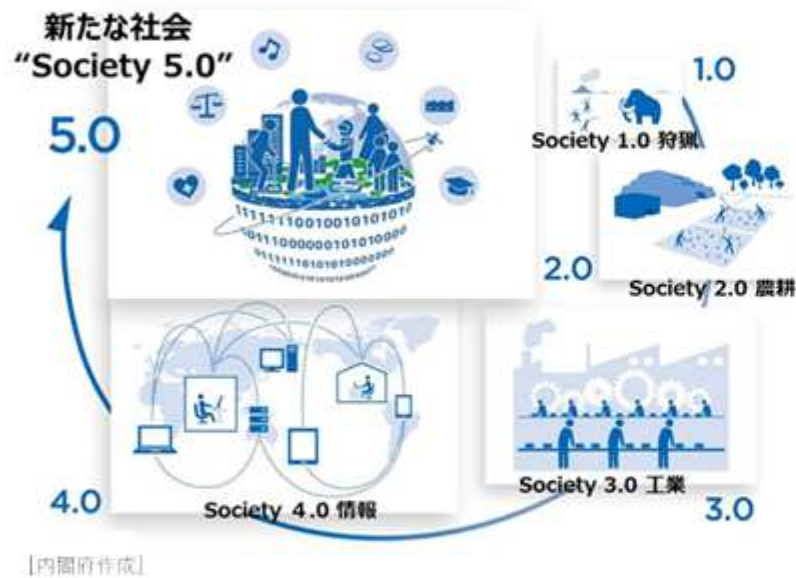
- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。**「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会**の実現のため、2030年を年限とする**17の国際目標**。(その下に、169のターゲット、232の指標が決められている。)



- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

出典:持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けて日本が果たす役割(外務省国際協力局地球規模課題総括課)

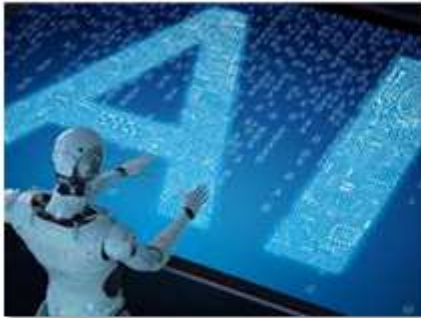
サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、
 経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）



時代	背景	技術革命
Society1.0 縄文時代	狩猟時代、ナウマンゾウ、イノシシ等 人間 vs 動物のリアル格闘の日々	石器・縄文土器・弓矢 竪穴式住居・貝塚
Society2.0 弥生～江戸時代	農業が発達し村社会、武家社会が誕生 文字の発達により紙媒体で情報が残る	金属器・水耕栽培・銃器・大砲 木造建築・自動車・そろばん
Society3.0 明治～昭和時代	文明開化に伴い機会産業が発達 高度経済成長期、24時間働けますか！ 電子媒体での情報管理	電話・無線通信・ポケベル 鉄道・飛行機・アポロ・ゲーム 汎用機・家電・電卓・PC
Society4.0 平成時代	IT革命によりネット接続・携帯普及 子供から老人までスマホを持つ時代へ 大学生がレポートをスマホで作る時代	Windows95・Internet通信 超小型化・ノートPC・スマホ データ活用・クラウドサービス
Society5.0 令和時代	超スマート社会 全てのモノがネットに接続される時代 データ分析が高度化、人からAIへ推移 鉄腕アトムを目指すロボット	全てのモノが無線でネット接続 AI/IoT/ドローン/VR/AR/5G ビッグデータの利活用 超高速通信5G、自動運転

コンセントを指したら電気が使えるように、意識せず全てのモノがネットワークに接続され恩恵を享受できる世界

AI



IoT



VR/AR



ロボット



ドローン



ビッグデータ



RPA



クラウドサービス



県内各産業及び県内情報通信産業のイノベーションを促し、高付加価値化及び生産性向上に資するAIやIoT、ビッグデータ、ロボット、ドローン、VR/AR、RPA、先端的なクラウドサービス等の技術・サービスを指す。

14. 各会場の会議要旨

注:Qとあるのは、質問や意見、意見などであり、【回答】はそれに対する解説や回答を表します。

審議会日時:令和2年7月10日(金)10時00分
地区名:謝苺区公民館 参加者:11名
町事務局3名 ぎょうせい3名 イスコ2名
会議内容
<p>■ニライの都市構想会議資料に沿って報告</p> <p>質疑・応答・意見 【質問】なし、最後で一括</p> <p>【意見】 社会教育委員をしているが、こどもの貧困に対策が必要であり、これは教育分野のSDGsにつながる。教育環境についてこれからはインターネット環境、Wi-Fi環境づくりが必要であるし、整備が待ち遠しい。また、コロナの影響で学校通信環境整備がテーマとなり加速すると思われる。</p> <p>【回答】 ご意見として伺います。 動向:国はギガスクール環境を重視し、タブレット配布、プログラミング教育などを進めている。</p> <p>【意見】 謝苺はいい所だと思っている。高台の小中学校は徒歩が基本だが、車での送迎が多くなっている。 沖縄県は車社会で病院などへの行き来が難儀。区の高齢化率が高くなり、徒歩で病院等は辛い。住環境整備、道路の拡張を要望。高齢者が住環境で不便している。 西海岸のみ発展しているような気がする。東側の先住者地域は良くなってきているがまだまだ道路、街灯の整備が必要。消防法・建築基準法の関係で住宅の建て替えができない。以前とくらべると良くなっているが、交通面の充実が望まれる。若い人は他行政区に出ていく悪循環が起きている。</p> <p>【回答】 西側地区の開発で得た財源の恩恵があり、那覇市に次ぐ2番目に大きな地域になっているので、開発で得た財政力を後ろ盾に公共サービス充実させている。謝苺地区では保育所跡地利用なども含め、謝苺区にあった環境整備ができるよう活用したいと考えている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

審議会日時:令和2年7月10日(金)18時00分

地区名:上勢区公民館 参加者:18名

町事務局 3名 ぎょうせい 3名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

質疑・応答・意見

【意見】

近年では人口は減って、世帯数は増えているようだが。

【回答】

核家族化が進んでいる。住民基本台帳に登録のない人が数千人いるようで、県内でも高い状況にある。地価が高く、持家が持ちにくい。

【意見】

住民登録なしが多い件について、国からは自助・共助・公助と言われているなかで、コミュニティの構築に課題がある。町内会活動等新しいコミュニティ、新旧コミュニティにつながりがない。交流が課題と思われる。特に住民登録していない短期滞在の方たちが、地域のコミュニティにつながることは少ないのではないだろうか。

【回答】

これまで主流であった町内会活動に加えて、最近では目的型コミュニティというものも現れてきており、両面を大切にしつつ考えていくことが必要であると考えられる。住民登録短期、米軍関係者、リゾートマンションとして(物件を)持っている方をどうやってコミュニティに呼び込んでいくのかは、これからの課題と考えられる。他の観光地では、この取り組みを進めている地域も出て来ているので、そういった事例を参考に検討するのもいいと思われる。

【意見】

ページ 28 の③「人件費・物件費が米軍基地から発生する～」の点数が低いという状況とは、具体的にどのようなことを表しているのか。

【回答】

具体的に、人件費・物件費が類似団体では 99 位中 88 位である。例えば米軍基地から騒音被害が出た場合に騒音測定を行い改善のために活動したり、米軍関連の事件・事故等への対応のためとして、余分に人の手配を行ったり費用が発生したりしている。安心な暮らしを確保するために必要とされるもので、高めになっているものではあるが、これが財政を圧迫しているわけではない。この結果は人数や費用の結果を示すである。

【質問】

報告会の結果報告についてはどうするのか。

【回答】

町ホームページなどにアップする予定。

【質問】

町民は、若年も高齢者も様々いるなかで、ホームページにたどりつけていない方も多いのではないかと

【回答】

さまざまな手段を使って伝えていくことが大切で、工夫していく必要がある。

【意見】

教育文化スポーツについて、体育館が欲しいと考えている。以前も意見を出しているが回答が得られていない。

【回答】

体育館が必要であるというご意見として伺います。

どういったスポーツリズム、どのような用途として必要とされているのか伺いたい。

【意見】

町の球技大会で使いたかった。今、適切な施設がないので学校の体育館を借りたが、日程が取りづらい。町民が自由に使える施設が必要。

【質問】

ページ 14、まちづくりの目標 2 の区画整理の推進についてどのような方向性で動いているのかを知りたい。どういったまちづくりをしていきたいと考えているのか。

【回答】

2003 年に返還された地域の区画整理事業を推進していくという件、第 5 次総合計画で挙げられており、今年にはほぼすべての土地の使用収益が開始され、地主さんへ土地を引き渡すことができた。まちづくりについては地主さんの意向を汲んで話し合いをしつつ用途を決め、事業推進している。

【質問】

子育て支援のあり方、健康作り含めたこれからの高齢社会への対応については。

【回答】

将来どのような地区になって欲しいかについて、地域の実情に合ったまちづくりを行うために総合計画を作るにあたって、これまでの総合計画の課題と成果に冒頭で触れた。引き続き計画策定で対応していく。

同時に、将来 10 年後に、こういった環境を残してあげたいかということで、先程意見のた体育館の件、健康増進のツールとしての施設や、子どもの居場所作り、教育の場所等、身近な町民や区民のための環境作りのための意見を皆さんから頂きたい。個別の事業計画で作成していくものではあるが、一つの大きなビジョンを作るために皆さんには協力をお願いしたい。

【意見】

こどもの教育について、北谷小・北玉小・浜川小の廊下と教室の間の壁がないので作ってほしい。隣の教室の先生の声が子どもの耳に聞こえてくる。今、小学校で過ごしている子ども達のために早急に防音壁が必要。

【回答】

意見としていただきます。

【意見】

上勢頭南公園のガジュマルの樹を業者が切り倒していった。地域の人たちには思い出がある。

業者に確認したら、他の町の公園に移すと聞いた。緑化運動として疑問がある。空いた箇所に緑を復活させてほしい

【回答】

自然環境の保全については他の地区でも意見があった。今後のまちづくりのテーマでもある。第 5 次の策定についても、緑化活動、花いっぱいのもちづくりというのがあったが、進展していない面があり、次期計画に反映したい。

【質問】

コロナの影響や対策が、福祉にシフトしているようだが、町の事業の経済的な部分ではどうか。

【回答】

北谷町で地域防災計画というのがあり、津波を期に浸水範囲が防災マップにも反映されるようになった。コロナについても対応するかたちで地域防災計画の見直しも、盛り込むことがある。北谷町は飛行場の返還を機に集中的に西海岸の開発を行った。その資金を地域社会福祉に返還している流れがある。この経済力を維持しながら地域力の恩恵を生かし、人口が減る中で目的型コミュニティをどう築いて、どううまく活用することが課題だと考えている。他地区で Wi-Fi 環境を整えて

欲しいという意見もあり、子ども達の学習についても新たなコロナの第2派・第3派がくることから、思っていたより早く新しい生活様式というものに変わっていくと考えられる。AIが入ることによって起きる働き方の変化は、北谷町の強い財政力を維持するためには必要なものだと考えている。

【意見】

Wi-Fi 環境を早く与えることは反対。実際子どもに Wi-Fi 環境を与えてはいるが、携帯の使い方に疑問あり。いいことに使うこともあるが、そうではない場面も多くみられる。5Gの次代は間違いなくやって来るだろうし、もうやってきているのだろうけれども、北谷にある大きな自然を体感できるサンセットビーチ、本物の海といった自然を守りつつ事業を推進するのが大切ではないか。両者を大切に進めていくのが良いのではないだろうか。

自然があって子ども達が遊べる場所があるという大きなプロジェクトが必要ではないだろうか。

【回答】

意見としていただきます。

【意見】

海岸を2キロくらい繋げて、浜川漁港を渡ってアメリカンビレッジまでの導線を繋げることは、行政として難易度は高いだろうが、良さそうだと考えている

【回答】

意見としていただきます。

海の資源を見守りながら大切にする、人が集まることで守られる自然があると思う。

少子高齢化を見越して西海岸のほうに施設が集中している現状がある。実験としてコミュニティバスが走っているのを、今後本格化していく計画がある。琉球バスにお願いして3千万投資している。運賃が2百万弱であるものの今後の少子高齢化を考えて絶対に残したい事業である。事業者と連携してコストを下げつつ西海岸を整備していく。南から北まで一直線にウォーキング出来るような、人が集まるような施設をつくるということで町長がサンセットビューラインを進めており、総合計画にも入れている。

【意見】

西海岸、アラハビーチを繋ぐサンセットビューライン。見る側、歩く側の整備がされて1本内側の部分が栄えてきているが、海岸側の本当の自然の整備や海岸の砂の入れかえや海の水質改善を要望する。

【意見】

まちづくりは地域づくりであり、アパートに住んでいる人は地域ではわからない。個人情報として町からの情報は来ないことが福祉面で障害になっている。

【意見】

コミュニティバスには反対。年寄りの役に立っていないと思うし例えばバス停が少ない。年寄りがバス停までいけないので改善してほしい。変更するならばタクシーに変えた方がいい。以前の仕組み買物チケット等に変えたほうがいい。

【回答】

意見が出てくるのがありがたい。これはバスを走らせた結果であって、意見や課題が出てくるのはやってみたからであるし、毎年意見交換しつつ進めていくのに役に立つ。少子高齢化や免許返納の関連で無くしてはいけない事業であると考えている。が、このままの形で運用をするべきではなく、研究しながらここ1年2年で変えていきたいとおもっている。

【意見】

今居酒屋になっているビルについて。上勢には病院が多い。観光客も沖縄にきて健康活動をする方が増えている気がするし、上勢がちょうどいいのではないかと思う。東側にも地域発展に関わるような施設を作って欲しい

【意見】

子どもの居場所づくりが必要であり、中学生・高校生の居場所がない。児童館は小学生が中心。ダンス・ゲーム等ができるような健全に遊べる場所、見守りながら憩える居場所づくりを要望。ボランティア活動で子ども食堂や、皆が見守りながら子ども達が自由に遊べる場所を作ることが必要と思う。

健康ヘルス病院の活用。買い上げて居場所づくりができないか。青少年センター（自由に活用できる場所）など。

【意見】

西海岸住民とは国道を挟んで分断されており、東側の住民は、西側の町の発展についての関わりが薄い。ほとんど関係がないという気持ちがある。

20 番の公園整備に関して、ガジュマルを持って行ったのも西のためで、東側の自然を壊しているように思う。

【質問】

ページ 12 の、まちづくり目標 1 の「個性」とはなにを示している？地域の個性なのか個人の個性なのか。いいことだと思うので町のどの部署が担当しているのか、見本のようなものを作ってわかりやすくしてほしいし、周囲への良い影響を与えて欲しい。

【回答】

地域・個人すべてを表現している。

【質問】

北谷町を横断する国道 58 号線の話で、陸側から作るのか海側を通す形になるのか 2 層になるのか、この計画がどう進んでいるのかを聞きたい。

【回答】

いまのところ、国道 58 号線の拡幅を計画している。複層化ではないときいている。国道なので町事業ではない。

【意見】

北谷町に緑がなくなった。以前あった涼しい風がなくなった。是非、緑を残した形で開発することを要望したい。

北谷の役所の近くの緑の多い地域をぜひ守って欲しい。高いマンションができて緑が減っている。

【意見】

街路樹に名前がない。街路樹名を方言教育の意味を含めて、付けたらいいと思う。

【意見】

町花(フィリソシンカ)はなじみが薄い。台風が来るたび飛ばされるので、もっとふさわしいものを町花にしてほしい。以前にも意見は挙げている。

以上

審議会日時:令和2年7月11日(土)10時00分

地区名:桃原区公民館 参加者:16名

町事務局 4名 ぎょうせい 3名 イスコ 2名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

質疑・応答・意見

【質問】

まちづくりの目標4の住居表示について、以前と変わらないように思える。その状況は。

【回答】

話し合いが十分できていないことが考えられる。停滞気味ではあるものの、進んでいる。地域説明会等の場で担当部から回答をさせます。

【質問】

ページ19のまちづくり目標4について「住宅確保支援」とあるが、必要な町営団地の数はどのくらいなのか。

【回答】

県営・町営合わせて合計6か所がある。家賃の高騰があり家賃補助が課題。生活保護の生活水準で用意できる住宅の支援が必要という事でこの課題が示されている。

現在、住生活基本計画にて具体的施策の推進中。

【質問】

まちづくりの目標5の「新川自然ふれあい公園の～緑地の保全の」取り組みについて。保全の仕方、緑を残すような活動はどのようなものが行われているのか。

【回答】

緑地保全として公園に指定しており、今後、公園の南側が返還予定ということで、その部分を含めて斜面緑地等という形で残せるように動いている。

【質問】

ページ16まちづくりの目標3のA Iを活用した受診についてはどのようなものが行われているのか。

【回答】

過去の受診歴パターンを分けて、足が遠のいている方向けに手紙でお知らせをすること等にA Iを活用しており、受診率を上げる目的。

【意見】

個別に受診票を送っているということだが、保健センターの個人の特定について疑問あり。アンケートをしたりして集めた情報が、北谷町役場だけでない他の分野での個人情報活用を危惧している。

以前、情報が洩れ学生が面接で不利益を被ったなどの事例があった。町は大丈夫か。不安点が残るならばA I活用などやらない方がいい。

【回答】

行政分野については、個人情報の保護は徹底されており、過去の受診履歴の範囲でデータ活用している。別の施策にデータが使われるというのは個人情報保護の観点から出来ないのが実際のところ、適切な運用がされている。

北谷町は特定検診受診率県内下位（下からワースト1、2の位置）のため、受診率を上げるためにA Iを活用していきたいと考えている。

【質問】

まちづくり目標1 平和についてで、①平和ガイドの育成は、ここ数年進展がないように思う。発信する体制についてどう考えているか②東部地区、西海岸地区の格差について桃原地区の位置付けは？③構築、情報発信について、町情報で住民がホームページにアクセスしているか疑問であり、HP・広報といった行政サービスが必要な人に届いていないのでは？④住民相互の支え合いが大切と考える中で、関係性の構築が見えない中どう6次につなげるのか。

【回答】

①平和ガイドという人材の育成は進んでいない。例えば高校生の広島・長崎への派遣をしているが、定着まではしていないので今後の課題である。

②東部地域について西海岸返還後、フラットエリアは米軍が使用しているのが現状。コンパクトなまちづくりを行ってきており、公共・商業施設まちづくりの税収を社会福祉の充実として、子どもの見守りや高齢者向け施策等町民全体に還元してきた。向こう10年間の総合計画では各地区で将来像が違ふと考えられ、桃原地区の皆さんがどういったものを求めているのかを意見を聞かせていただきたい。地域特性を生かしていきたい。

③情報発信（公報・HP等）の新しい方法を検討していく。具体的にはこれから考えていくことになる。

④旧来型のコミュニティは存続が難しくなってきた。目的型のコミュニティの構築が必要と考えられる。町内に限らず、町外を含めたコミュニティの構築が必要となってくる。

【意見】

平和ガイドについて、高校生が頑張っているが、幼いころに戦争の悲惨さを学んだところでガイド育成に行きつくかは疑問。それぞれの世代に合わせた関わり合いが必要と考える。

【意見】

東部地域は開発から置き去りにされているのでは。以前は各地域でコミュニティが生まれていた。大きな商業施設だけではなく小さな商店を残していく必要があるのではないか。今は小学生がゲームを出来るような、小さなコミュニティがない。

西海岸地域は、コロナの影響で観光等疲弊しているのではないか。北谷町には土地が狭く新しい産業を作るのは難しいと思うけれども豊富な人材があり、漁業等の人材育成を6次計画につなげていけると良いと思う。

【回答】

意見としていただきます。

【意見】

情報の発信について、エリアテレビで情報を伝えてほしい。

【意見】

ゴミ問題で5000名前後の米軍人のゴミ処理も負担となっているはず。整理して財政の確保をして欲しい。

【意見】

住民アンケートはいつ実施したのか。

【回答】

本年度高校生が5月末～6月頭、転出者が1月～3月に窓口でアンケートを行っている。

【意見】

住みたくなる町については、長男は家を継ぐので残るが二男以降は外に出ていくのが通例で、その中で土地も無いうえに投資で家賃の高騰がおきているのでは、住みたいが住めない現状になっているのではないか。

新たな建物を立てるより、家賃補助を行う方が早く効果があるのではないだろうか。15歳以上が転出することなく住み続けることにつながるのではないか。仕事を理由に転出する人も、近隣であれば住み続けることを選ぶはず。住みにくいから転出につながっているのではないだろうか。

【意見】

町が情報発信をするときに、普通の生活ではAI・VRにつながりづらいし、外部業者の力を借りるのもいいだろうけれども、今期計画で関係が終わってしまうことを考えるならば、人材育成がやはり大切だ。行政内での人材育成をすることで、課題解決にもつながっていくのではないだろうか。人を大切にしていきたい。

【回答】

意見としていただきます。

以上

審議会日時:令和2年7月11日(土)14時00分

地区名:栄口区公民館 参加者:16名

町事務局 4名 ぎょうせい 3名 イスコ 2名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【意見】

まちづくり目標4について、施策21番について、県道24号線整備改良後に交通量が増える事が考えられる。町道の整備について改善の必要な地区が多いと思う。歩行者の安全確保に課題が残っていると思うが、どのように考えているか。

【回答】

ハード面で用地買収がなかなか進まない等の、計画が進まない傾向はある。交通事故の問題、歩道の整備、国、県、警察との連携を進めるのが基本的なありかたである。

【要望】

子ども子育て会議の成果を求める。これまでの住民説明がされていない。施策14番について、計画的に実現されてきたのかを問いたい。

【要望】

道路作りが成果の話の中にあっただけ、子ども達の権利や尊厳が守られて安心安全な道路作りが行われてきたのかの成果を知りたい。

【回答】

子ども子育て会議とは趣旨が違い、個別の施策についての回答についてはあらためて対応する。今回集まっていた趣旨について、総合計画としてのとりまとめの立場なので、道路整備や他のご要望についてはご意見としていただき担当部課へ引継ぎ適宜対応していく。本日は意見を頂く場で、いま、何かを決定することは出来ない立場なので、ご理解ください。

【意見】

園児2~300人が通る道路のすぐそばに消防署が設置されようとしている。防災拠点整備という計画のもとで各課が連携を取って設置に動いたことも理解しているが、住民に計画がフィードバックされていない現実が現れているのではないかと。

本当に2万8千人の住民がこの会が開かれていることが周知されているのか。興味がある人もいれば興味のない人もいる中で、無関心な方にアプローチするのは行政の仕事としてあるとは思いますが、区民の皆さんに対しての周知と5次計画についての解説とフィードバックが必要ではないかと。住民の各年代の方から満遍なく話が聞けるような場所を設けるべきだったと思う。アンケートも良いとは思いますが、今後は生の声を聞く場を設ける必要があると思う。

【回答】

住民参加のまちづくりということで、当初、各年代会議の構想があった。しかしながら、今回コロナの影響もあり急遽、各行政区懇談会の実施となった。

広報活動については今後の課題。他の地区でも行き届いていないのではないかと意見を頂いている。多くの住民にどう周知するかが課題であると考えている。新しい計画になるのか現計画になるのか、というところから議論したいと思う。

【意見】

文化行政について、ニライセンターホールが土日使えない。48億かけた立派なホールを今後の地域を担う子ども達のために使えないのは失策だと思っている。町民の子育て支援を優先したり、町民が平等に使用できるようなシステムになってほしい。

【要望】

駐車場を借りているが、今年の3月に突然、近隣の道路で工事が行われていることに気が付いた。職員は勿論説明を受けておらず、保護者からも情報が無いことに対してお叱りをうけたりと、困惑した。そこから情報を集めたところ謝苺地区から道ができるという事を知り、車の量がすごく増えて、子ども達が危険な目に遭うかもしれないと不安である。どこに訴えたらいいのかわからずにいるなかで、心当たりの北谷町の担当へに連絡を取ったが、町からはたらい回しにされている。対応して返答を頂きたい。

【要望】

子供が8時間保育園に居て、保護者は仕事も家庭もと、忙しい中で、公民館に掲示されているだけでは情報が届くと思えない。地域住民の方と、署名活動を考えて話を聞いてまわったところ、その地域の方も道路の計画を知らなかった。

特に消防等の緊急車両はいつ出入りがあるかわからないということで特に危険があると思うし、交通量が増えることで大津であった事故のようなことがいつ起きるとも限らない。

どこに連絡を取れば具体的な話ができるのか。保護者に説明するにしても窓口がどこになるのかをお伝えしたいので教えてほしい。

【回答】

総合計画は全分野を網羅している。中身については個別具体的には担当部署と協議し対応していくことになる。この点についてご理解いただきたい。

道路問題の所管は土木課になる。防災拠点等の大きな設備についてはたくさんの部署がかかわっており、消防、土木をつなぐとりまとめ役割は企画財政課になるが、個別具体的な今回の道路の話は土木課へ引き継ぐ。

【意見】

高校生アンケートについて、「住みたくない」という意見はなぜかを詳しく調査したほうがいいと思う。

【意見】

人口増加の部分で気になるのが、北谷町の役場の前などの土地の価格も高くなっていることは周知の事実であるなかで、詳細を確認してみればセカンドハウスなどの、投資目的が多く実際には住んでいない状況があると聞いている。人口減少はやはり起きていると思う。町の住民以外に対して町の認識が甘いと思う。居住実態の把握をすべき。

【回答】

「住みたくない」の意見について、今手元には出していないが今後アンケートのデータからクロス集計として、個別の理由と町内、町外等の数字は出すことは可能。

住居実態についてはむつかしい面があるが、固定資産税は支払われていることにかわりはないので、その面の調査はできる。投資物件なのかリゾート向けに所持されているのか居住実態についてはこれからの話になる。（今後行っていくことになるとしても）非常にむつかしい調査になると思われる。

【意見】

人口減少データの未来カルテを見て、今後起こりうる高齢者世代の介護の必要性についてや、若い世代は減っていないとの結果だが、これはあくまでデータ上の話であって、北谷に住んでくれるのかは行政上の課題だと思う。仕事の関係で住民票を移さずに済んでいる人も多いと思う。新しい世代が住めるような、永住できる町をつくっていかないと今後の人口は増えないと思う。永住してもらわないと町は減びるし、財政悪化や合併等で北谷が減びる可能性も考えて広い視点で考える必要があると思うし、若く所得が低い人もここに住みたいと思えるような場所を作る必要がある。

道路についてもだが、道づくりは町づくりということで、便利さを追求する世の中ではあるけれど、不便であることが魅力になるという発想は必要だと思う。親世代高齢者世代が苦勞して北谷町

で家を買って終の棲家にしようと思っていて住んでいるところに、交通量が増えてうるさくなるようなことがあっては残念。居住性よりも利便性を優先するような考えが入ってくるのは残念に思う面がある。新しい若い世代の考えが入ってくることで変化はおきるが、住んでいるお年寄りや体が不自由なひとのことを考えないのはいけない。便利さだけを追求するだけが町づくりではなく、何十年と住むのにふさわしいまちが必要と思う。

そのためのまちづくりのための道づくりとして、道路行政は土木課の仕事ということで切り取るのではなく、企画の時点でしっかり考えてもらうことが大切で、すみ分けを含めてしっかり考えてほしい。そうすれば素晴らしいまちができるに違いない。

北谷町には軍用地があるが、その税金を利用したり、返還されるのならその場所を商業地として使うのではなく若い人が（帰る）買えるような場所として区画整理して、若い人が北谷に永住してくれるようなまちのために使うべき。アパート等短期居住だけでなく家を買って住むという町づくりをしてほしい。

ナカグスクのほうで成功している例があると耳にした。

【意見】

少子化が進むことがはっきりしている中で、行政主導で婚活を行いその後の妊活など、子どもを増やす取組に支援をしていくことも大切だし、その後の保育園生活や学校生活、この土地で子どもを産み育てていくというビジョンが見えるような取り組みを行うことも必要だと考える。

【意見】

過去に、道路整備によって転出したり、商売がうまくいかなくなったり、学校が閉校するなどをした他自治体の事例がある。道路づくりの失敗は過疎化をまねく、大きな問題である。

【意見】

昨年、厚労省から少子化対策の予算が発信されていくと聞いている。また、コロナの影響で観光業を中心として勤め先、就職先がなくなっている。収入が減る中でどのように生活を守って住みよいまちにどうかえていくか。特に住む場所について提案だが、北谷町役場前に町営団地をつくってほしい。役場が買うなど、半額補助という形であったり、子育てをサポートするような計画を絶対にに入れてほしい。

【意見】

自治会から見た点で話をしたい。町全体が少子高齢化になっており、高齢化が進む中で町の施策は宮城、北前、美浜地区が重点的になっている。東側の部分は金融機関が東からなくなってしまったり不便を感じている。東側もまとめて考えてもらいたい。住民を大切に全体で企画づくりをしてほしい。コロナの件では、住民を大切にできていればいいが、たとえばイオンに行ってもすべて観光客向けになっている。

【意見】

町の祭り、シーポートは毎年やるのか？情報が無い。デスクワークで考えるだけでなく、全体で祭りをするように、イベント企画等は専門の人材の育成活用をしてほしい。そのままだと客が来ない。他の市町村を視察した結果、毎年行われるように町民が楽しめる、地域を育てる場づくりが必要と思う。観光課だけがみるとか、担当だけが気にするだけでなく皆が別の市町村を見学する等を含めて住民が楽しめる企画を大切にすることに関わってほしい。住民が大切にされていないと感じている。自治会はシーポート参加は防犯巡回をおこなっている。

祭りに関して言えば、北谷町をアピールするいい場と思うので町をアピールするいろいろな面でのイベントを。そう考えると担当職員だけが行うのは無理があるので皆が関わるような仕組みにし、北谷をアピールする大きなイベントとしてほしい。

町民とのつながりをつくることで各地区のつながりもできる。伝統芸能も守られるし、将来に向けて観光客も増えるような取組になる、まずは地域の発表の場を提供しては？専門的な人の配置を希望する

【意見】

各課に確認するという事になっている話がたくさん出ているが、ホテルのコンシェルジュのような窓口の開設を、ITも活用して行うことも考え、ワンストップサービスで対応できるようにできないだろうか。そういった課を作ることはできないか。（今回のような場を含め）聞いたけれど答えられない、たらいまわしにされる、ということ減らすことができるしサービスを受ける皆さんも大変だし効率も悪い。役場だけで考えるのではなく専門の方を積極的に入れて考えて、今までのやり方を変えていくことを考えてほしい。今からの10年に、いいまちになれるとおもう。

【意見】

ITの件、提案だが、内地では過疎化地域にNTTなどの企業は行って実験をしている事例がある。北谷町は観光も成功してサービスも充実していて過疎化しているとは言えないが、5Gの実証実験を北谷町でいち早く行うことはできないだろうか。北谷町にはメディアセンターがあって、以前は中心にして企画があったが最近はなくなっている。町ぐるみで実証実験を誘致することで面白いこともできるだろうし、若い人へのアピールになったり雇用にもつながる。国策としてやっていることなので、受け身ではなく積極的にアピールして北谷町で展開してもらえるような取り組みを行っていくのもいいと思う。

【意見】

行政と住民の間には距離がある。ニライセンターについて、最初に予約を入れていたのに、その月曜に「できない」と言われた。仕方なく他の場所を借りたけれども、保護者からもクレームがあたりした。以前は役所から、保育園に対して意見を聞きに来てくれるような場面があったがこの4年間さっぱりなくなってしまった。親の言葉を行政に伝える場がなくなっている。

【意見】

今回参加が有意義だった。今後、会議を行いました、企画しました、実行しますとなったときに、地域住民への説明が不足していたので今回のような道路の問題が出てきたと思う。地域住民と行政との距離を少しでも埋めるための場を今後も開催してほしい。

以上

審議会日時:令和2年7月11日(土)18時00分

地区名:桑江区公民館 参加者:9名

町事務局 4名 ぎょうせい 3名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【意見】

ニライセンター名づけ親として。ニライの名称はニライ消防、ニライの里、町民健康の中にもニライの里つくりという文言があるが、ニライ名称の概念提示がないのでこれをすべきではないか。辞典を調べてもニライの言葉は載っていない。町民全体が分かる定義が必要ではないか。

【回答】

今、例えば横に書くものとしてどのような言葉が当てはまるとお考えか

【意見】

今は浮かばないが、町民皆が思う言葉が必要と思う。

【回答】

昭和58年に町民憲章でニライカナイの定義がある。

【意見】

これをキャッチフレーズのような分かりやすく一言で表すことを考えたい、町民全体で考えていくもの。

【回答】

職員が決めるものではないと思うので、意見を聞く場が設けられたらとおもう。総合計画の基本理念にもニライのまち、という文言がある。50年間変わらず掲げている文言なので、考えるきっかけが持てる場があればと思う。

【意見】

北谷町独自の良い計画がたくさんある中で、町の費用でイギリス留などを長らく行っている。人材育成としてすごく大切な事業だとおもうので、今後も継続して6次計画に継続反映させてほしい。優秀な子どもが増えているいいものだと思うので継続してほしい。

【意見】

アンケートの北谷町に愛着をもっているが満足度が90だが、子どもたちが減ってくるという結果も出ている。地価が高く住環境がよろしくなく、自分の地域に住めなくなる人が出てくるのが考えられる。留学で得た優秀な人材の流出が心配。

【意見】

桑江区公園が利用されていない。桑江公園の活用が必要だが、ハブが出る、見通しがよくないなどがあり恐怖を感じるという声も聞こえてくる。他地域のほうから自然環境を保護してほしいという意見があったと聞いたうえで相反する意見になるが、高低差を改造して、高齢化社会に備え、多くの町民高齢者が楽しめるようなパークゴルフ場やウォーキングコースを作してほしい。カラスがたくさん増えて怖いということも聞いた。桑江公園を改造して環境づくりを行ってほしい。

【意見】

数年前まで、各家庭に町とつながっているラジオがあったが、今はなくなった。桑江区の区民は現在高齢者が増えるなかで、いつ起こるかかわからない災害などに備えて、町とつながりを得られる何かがあれば高齢者の方たちも安心されるのではないだろうか

【意見】

ニライの定義について、小学生のかたに意見を聞いて投票するのはどうだろうかと思った。アンケートや投票などを行うことで記憶にも残るし、この先に定着するしいいと思う。

【意見】

まちをみると高齢者が多くなっており、買い物が不便と感じる。コンビニはもちろん商店すらないことは問題とおもっている。コープ、JAの宅配に来てもらっているが、両手に買い物をしていくひとをみる。足がないので、Cバスを活用してほしいがお金がかかるのであまり使われていない。うまくいく方法がないものか

【意見】

町内に北谷高校があるが、町内では仕事が限られてくるというこえが聞こえる。遠くから仕事に来ているかたもたくさんいるが、定着には課題がある様子。空き地ができればアパートができる流れがみえる。大きな建物ができてリゾート用にされている。改善が必要

【意見】

役場の駐車場の見通しが悪い。職員も一般も使用しているが、見通しが悪く車線の引き直しを要望。ガードレール側ではない向こう側に線を引いてほしい。交通安全の観点から要望。

【意見】

町づくりにはスポーツの視点も必要と思う。町内には予算をかけたテニスコートが多数あるが、テニスのまちではない。施設があっても地域振興に活かされていないという課題意識を持つ必要と思う。

ソフトボール会場も沖縄で一つであるし、陸上競技場も立派なのがあるが、燦燦たる状態にあるので活用に力をいれるべき。

【意見】

定期的に地域巡回に参加しているが、浜の海岸線で、米軍の子どもたちや高校生たちが夜8時頃にテトラポットに乗ったり、砂辺の海岸で泳いでいるのを見つけた。非常に危険。フェンスや英語日本語の立て看板を設置していただきたい。ほかにも、中部土木事務所管轄の海岸で夜に遊んでいるのを見かけた。こちらにも設置をお願いしたい。

以上

審議会日時:令和2年7月12日(日)14時00分

地区名:北玉区公民館 参加者:9名

町事務局 3名 ぎょうせい 3名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【意見】

58号線拡幅、キャンプ桑江はどのような計画があるのか、どのような動きがあるのか知りたい。

【回答】

わかる範囲でお答えします。58号については北側に復路を設けて拡幅を予定しているが、南側は返還後に同じような予定している。北谷城も同じように計画がある。いったん拡幅はするが、交通量増加に対応できないようであれば複層化も考慮すると聞いている。

事業主体は南部国道事務所であり、南側の返還時期は未定。住民の合意形成を行っている段階。

【意見】

基地返還に伴い、町が変わってきている。道路・学校などが以前と違ってきている。戦前戦後の変化に加えて返還後の変化については、どこで検討され、反映しているのか。

【回答】

基本的には総合計画で把握して方針を出していく。ハード面に限らず計画は出していく。まちが大きく変わってコミュニティが変容している地域は存在している。目的に応じた新しいコミュニティ形成を図っていくことが必要と考えている。その内容と考え方は今回の総合計画の中で述べていく。

配布資料の8ページ下段、目標4、施策21 道路交通ネットワークの充実にて道路に関する施策の方向性について書かれている。方向性を勘案して都市計画マスタープランを策定され、地区の開発につながっていく。総合計画は、都市計画マスタープランを作成する前の大きな背策になる。

学校についても、施策33 義務教育の充実について取組の必要性や実施段階での枠組みが作られたのちに分野別の個別計画がつくられていく。総合計画はソフト・ハード両面を含んだもので、向こう10年の町づくりの方向性について決定していくのが今回の会です。

【意見】

北谷町は53%基地が占有しているが、南側の負担軽減を図るということで日本政府も力をいれている。戦後100%の占有から少しずつ返還され町ができてきた。学校の配置などが、基地の返還によって偏りが出たりする。返還に伴う学校の建設の話もあるし、同時に起きている少子化についても含めて、さらに今回コロナの影響でIOTの流れも出てきていて複雑化している。その中で今後10年間、地域で時代に合った人材育成ができていくのを見ながら個別計画を進めていくこと重要になっていくと思う。

他行政区によっては、道路をあえて作らずに不便なのもいい面があるのではないかという意見も出ている。今後10年間にある新しい生活様式に合わせて変わっていくと考えられる。

【意見】

区別のアンケートを見て、「満足」、「やや満足」より「重要」、「やや重要」に目が行く。

防災は、防犯、交通安全、災害対応が割合を占めているのが気がかり。大きな地滑りもあったし、対応もしてもらっているが、地主がやるべきこと、役場がやるべきことで代替わりもあって話を通じず、平行線をたどっている。道路については街灯、木についても同じことになっている。

【回答】

昨年行政懇談会でも把握しており、台風のたびになにか問題が起きている。担当課で全体的な調査から進めていくように伝えたい。

【意見】

まちをつくっている側の人間として。住み心地がよいまちであることは違いないが、その陰で苦しんでいる人たちも存在していることに注目することも必要。町としても目玉となるものを色濃く出していったほうがいい。観光だけでは弱いのではないかと考えている。4月からインバウンドが激減するなかで、次年度以降はかなり厳しくなるのではないかと。様子が分かればおしえてほしい。

【意見】

北谷町にある伝統芸能に対して、高齢化が進む中でいち早く町指定文化財に力を入れ着手すべき。文化課ができたことで期待している。北谷城（ぐすく）が国指定史跡になることが決まって新川の計画を聞いた。城周辺の土地、白比川沿いに親水公園のようなものを設けることでたくさん持っている遺跡たちを結ぶ道を作ったりする計画はどうだろうか。全国で観光だけで倒れたまちはたくさんあるので文化に力を入れるべき。

【意見】

区域ごとの人口のバランスが悪い。行政区の見直しが必要ではないか。財政の問題もあるしやれることが限られてくる。役場周辺も含めて10年先を見据えてほしい。

【意見】

まちづくりの構想なのでもっと大きくしてほしいと思うのは人材育成。どの政策をするにも人材は大切。やってないわけではないと思うがもっと人材育成の面を大きくしてほしい。それぞれの項目の中に設けるのではなく、人材育成の大きな切り口を設けるための項目を作してほしいくらい。

以上

審議会日時:令和2年7月18日(土)10時00分

地区名:北前区公民館 参加者:9名

町事務局 4名 ぎょうせい 3名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【質問】

財政力指数0.79について具体的に。

【回答】

例として基準財政1という数字は国からの交付税が出ない。国が「このまちにはこのくらいのお金が必要だ」と現した指数が基準財政需要額。

基準財政需要額は町内にこどもがどれだけいるのかや、公園の数、道路の面積や長さといった、複数のことから、日本全国で同じサービスを受けるために必要になるお金はいくらなのかを出している。対して基準財政収入額は固定資産税、町税等が全国统一基準でいくらあるのかを出した数。これが同じ数字だと、国のサービスは交付税をもらわなくても北谷町は運営していけるよね、ということになる。北谷町は0.79なので、不足分は交付税をもらっている。

【質問】

財政力1を超えている自治体はあるのか

【回答】

全国1800有余の自治体の内5%未満の数がある。基準1以上は東京都内の市や愛知県豊田市、その他原発施設のある村等、大きな企業がある場所。

【質問】

住宅の確保が難しいとの事に対して何か取り組んでいることはあるのか。

【質問】

公営住宅の建て替えを実施したが、新規に区画整理をし、住宅地をつくり、販売することは町としては行っていない。具体的な計画はないが、地域差があり全体的な土地の利用計画が必要だろうと思う。

<補足>17 ページ目標4の主な成果にて、北谷町住生活基本計画の策定をあげており、今後の具体的な北谷町として住まいの確保についての計画となっている。

計画が策定されたばかりで実施段階には至っていない。

【質問】

IT社会について。第一印象として怖さがある。便利には感じるが人と人とのつながり、助け合いが少なくなっていくのではないか。自分の頭で考えないような人間という存在が希薄になる気がする。IT社会を目指すことで個人情報の管理が心配である。

【回答】

大きな意味での不安、課題はあるが、個人情報保護の問題はこの時代常に言われており、進めていくうえで、カバーしていく必要がある。

超スマート社会で手が空いた時間をどう使うか、例えばボランティア活動、人と人とのつながり構築、コミュニティの構築に使うなど。行政でいえばIT化で手が空いた時間を住民との対話、直接対応する仕事に専念できる。だが、不安があるのは事実、これからどう改善していくのかはこれから。

【質問】

町のあり方について伝えたい。北谷町はこれまで素晴らしい発展をとげ、観光客のみならず県民の心をつかんで人々の集う町として向き合ってきたが、しかし、コロナをきっかけとして変化もあったので、違う視点からも考えてみた。

こうあってほしいという姿については、①生きていくうえで必要なもの。食料、水、コミュニ

ティ、エネルギーなどについて、何があっても安心して暮らせる町②これまで私たちは資源が無限にあることを疑ってなかったのではないか、しかし、コロナをきっかけにこの町の食料自給率どうなっているのか？観光客の消費がなくなった場合、町はどうなるのか？何があっても町民が安心して暮らせる条件は整えているのか？多くの人がこれまでの在り方について考えたと思う。これからの在り方、次世代が安心して暮らしていける町づくりが大切なのではないのか。

【意見】

町民これからのありかたアイディア、次世代に持続可能つなげるまちづくりについての意見を伝えたい

- ①自給率の向上。農薬や化学肥料・遺伝子組み換えなどに頼らない、安全な食料を町で作る地産地消。
 - ②観光客をあてにしない経済発展。地域通貨、ローカル経済で町を守ること。
 - ③子どもたちの日常を守る。3食べられない子どもたちを町で把握したり、公民館でフードバックしたりが可能ではないだろうか。
 - ④地域の助けあい、人権保護。各公民館で物々交換を設置。ホームレス人数把握して人権を守ること。
 - ⑤公民館の活用。北谷町内の空き地を農園に充てたり、町民農園から離れたところに住んでいる方が使用できるような農園をつくる。
 - ⑥水の安全を守る。各公民館に浄水器を設置したり、子どもや妊婦さんに対して浄水器が安価に使用できるような補助金の策定を行う。
 - ⑦地産地消。農林水産業の促進。
 - ⑧環境保護のまちづくり。屋上の緑化。緑を増やして温暖化防止。脱油給として地熱・風力・水力・ソーラーの設置といった自然エネルギーの使用。
 - ⑨町民の命をまもるための、災害時に向けた食料備蓄状況や種類、量を知らせてもらいたい。明確にしてほしい。
- 今ある仕組みに無条件に従うのではなく、町民一人一人が声を上げていくことや寛容することが大切だと考えた。

【回答】

農産物に関しては、農地が非常に少なく農産物の少ない土地柄なので工夫が必要と考える。町の備蓄は災害対策基本法で努力義務として決まっている。個人は2日分の水・食料。自治体はその他マスク、消毒液などもう少し多く備蓄するべきとされているはず。

<解説>地域防災計画にて食料品は町民の人口20分の一の方の3日分を備蓄することになっている。各スーパーとも協定をむすんでおり、また給食センター活用も対応している。地域防災計画は定期的に見直しが行われている。今のはあくまで平成27年策定のもの。

最近でのニュースでいうと熊本の浸水があったがその時にも避難所などに段ボールのベッドや仕切りなどが国から至急送られてきている。昔の災害対応から考えるとかなり進んでいる。

【意見】

災害があったときに国からもらえる段ボールのベッドにはプライバシーがない。北谷町にはホテルがたくさんあるので、被災時には空いている部屋を町が確保して使わせてもらう等、国がやっていることではなくて北谷にある資源を活かした対応をしてもらえるようなことを検討してほしい。

【回答】

これまでの傾向としては、もし大災害があった場合にはホテルを使うこともあると思う。

【意見】

『TOMORROW パーマネントライフを探して』ドキュメンタリー映画がある。持続可能な社会を作ろうと市民が立ち上がって実際に成功するような例がたくさん出ている。これをぜひ多くの方に見ていただきたい。

地域のつながりをよくしていくための例もたくさん出てくる。

【意見】

40 ページにあるように 10 年前を振りかえって。ハンビー地域もまだ発展していなかった。そこから目覚ましい発展が、北前、ハンビー、西海岸のほうにあった記憶がある。県外からも多く集まるまちとして発展してきたが、コロナの影響で観光業だけでは厳しいのではと思っている。常々地元の特産品がないと思っていた。泡盛北谷長老・塩のみ。生活していくうえで観光業だけでは成り立たないのでないか。地域の特色として観光業の地域と自然が残っている地域がある。

北前に関しては土地も高いしむつかしいが、うへの地方はまだ自然が残っているのでそれを活用したりと、商工会もふくめて特産物を作ってみては。また、特産物を作るにあたって、北谷町高校とう若い優秀な人材があるので活用してはどうか。類似団体の西原町は高校生を活用し特産物を県外へ発信している。農業課と違って普通科なので、即していない部分もあるかもしれないが、若い世代の力を借りて、北谷の誇れる特産物、お土産をつくり上げるのも面白いのではないだろうか。コロナがあったことで産業プラス特産物について考えるようになった。

【意見】

筑紫哲也の本でスローライフすすめの中に 1 村 1 品の意見があった。一つの村でこの地域でしか作れない地域に合ったものを作ることが大事だと感じた。

先ほどの A I の活用というものもあるが、北谷町は美浜のイメージがある。都会のイメージ。これからの北谷町は最先端に行くイメージで進んでいるけれども、私が求めていることは、人として幸せなのかどうか、だ。全部が便利になったときに、私が幸せに感じるかどうかだ、と思う。人間として幸せを感じることができるかどうか大切と思う。

【回答】

特産品は難しいなあと思う。物が無い。農業が盛んで農地があればいいが。東地区の活用ができれば。

【意見】

自然が豊かなところと都会であることの二面性が北谷の特色。ここから離れたくないと思う理由。地価は確かに段々と高騰して一部は北谷のビバリーヒルズなどと言われているのに、上のほうには空き地がまだ残っている。高齢者が上に上がっており、たくさんの方がいる。元気な高齢者にも活躍していただけるような場を公民館などに設けて、北前地区は元気だねと言われるようになってほしい。

【意見】

高齢者は、子どもと相性がいいと思う。高齢者と子供をつなげるかかわりを増やしていくのもいいと思う

【意見】

ボランティアについて、町に関しては男女参画に関わったり、社会教育委員としても活動したことがある。

北谷で育った子供を北谷のために活動できるようにしたい。人として、便利になることは素晴らしいことだと思うし、SDGs も守らなければならないと思う。私たち一人一人の幸せ指数を高めていく必要がある。こういった会は意見を言える場だと思う。北谷を離れたくないという人たちが一番北谷のことをわかっているのではないかと思います。

【意見】

高齢者、子どもの関わりについて。自治会の会長として行政から補助金をいただいており、活用してふれあい業務を開催している。これからも活動は強化したい。今年は大きな行事がコロナでできないが、規模を縮小して開催をしているものもある。多世代ふれあい朝市を 9 月に開催予定で、高校生ボランティアにも手伝っていただく。子供たち、家族で参加できるイベントにしたい。ただし、人数的に過密にならないようにしている。

【意見】

地域の中で活動する中で北前の住民の方は住みよく居心地のいいまちであってほしいと、思っている。その取り組みをしている。静かな環境の住宅地の中に急に高層マンションができています。住民として居心地がいいかといわれると疑問。高層マンションの需要もあるだろうが低層の住宅街とはわけられる方がいいと思う。環境問題もあるしある程度規制をかけながらやってほしい、規制が緩いのではないだろうか。新しい返還地もあるし、新しいまちづくりには住民の方が居心地の良いまちを目指してほしい。商業地観光地だけでなく住民が住みやすいまちづくりを希望する。

【意見】

商業地について、北側の国道沿いの返還地について、本土のある郊外の街道沿いの町を見ているような状態になっている。これは北谷らしさがないと思う、看板の作り方を表から見えないようにしたりという規制を望む。北谷のコンセプトを商売される方にも守っていただくように、行政がまちづくりをリードしてもらいたい。土木や都市計画でその点を浸透させていただきたい

【意見】

【意見】

北谷町で事業をしている方に対して、地域で守るために地域通貨を導入してローカル経済を回すような仕組みがあると良い。地域通貨でベーシックインカムを部分導入して所得補償をしたり一次産業、もしくは漁業の組合員の方も地方税を物として納めることを許可するなどして、その物を自治体は販売部で都市に販売して現金での歳入を増やすことをしてはどうだろうか。地域財源にしてお金を回していく。

【意見】

教育に興味があり、教育の個別化、学びの個別化をできたらいいと思っている。平成 29 年頃北谷町学校教育課に発表された資料では中学生の学校満足度が 5 割程度で県平均より高めだった。これは、半分の生徒しか満足していないということでもある。今の学校の仕組み制度に限界を迎えており疲弊が起きているのではないかと。先生方は感じているかもしれないが保護者の方々がこの部分に関心が高くないと感じている。

そもそも皆が同じではないという社会なので、それぞれの違いを認め合えることも大切だ。そういったことができるような何か施策があると良いと思う。

学校に対する固定観念がすごく強い中で、激動の時代を強く生きていくための教育というものをできたらいいと思う。東京の学校で不登校が減ったり学力があがった実績があったり、広島でリモートが成功したりという文化省の症例ではなく現場レベルで成功した例があるので参考にさせていただきたい。

【意見】

もっとこころ豊かなまちづくりを。人間の視覚、心に訴えるような花と緑の豊かな町づくり。短期間に北谷町のイメージをよくするのに良い方法だと思う。町を挙げて取り組めないだろうか。道路沿いにきれいな花が咲いている市町村もある。商工会と連携するか、自治会と協力して行っているが、人手が足りていない。花は朝晩水を上げる手間がかかる。世話する人の手が足りていないので事業として組織的にならないかと思っている。特徴を作るために力を入れるものとして花、勉強、スポーツなど身近なところからまちづくりをおこなってほしい。

【意見】

子どもたちの人材育成について、10 年後の子どもたちの様子。どういった成果があったのかを知りたいし、将来の人材育成のために活用できる場を作ってほしい。育成した人材について町のほうでその人材を活用できる場所はつくれないか。企業誘致という方法もあると思うので場を作っていただきたい。

【意見】

博物館の関連事業として地域歴史ガイド育成はできないか。名所遺跡がたくさんあるのでこれを

活用できるような、そして地域の子どもたちや他の市町村の方隊が見に来るような場所の整備が必要と思う。

【意見】

伝統芸能北前のエイサーを区、町で継承保存することも今後必要ではないか。文化財、伝統芸能の保存などにも力を入れてる施策がほしい。高齢化で継承ができていない。小さなころからエイサーに関わるような縦のつながりを持った行事として育てていくことも大事と思う。

【意見】

町がいま取り組んでいるハワイ短期留学、イギリス留学に加えて平和学習広島長崎派遣について、今、平和学習広島派遣の人材は町は活用している。イギリス・ハワイ留学はまだ意見交換を行ったことはないが平和学習については人材として使われている。イギリス・ハワイに関してもうすこし人材の活用をしてみてはどうだろうか。

【意見】

補導件数は少なくなっているが、引きこもりが多くなっている。コロナになってさらに多くなったと聞いている。子供家庭課のほうからは親御さんからの相談も多くなっている。北谷が夜遅くまで空いていると出歩く人が多くなる。そこに小さい子が夜中に歩いている子供もみかける。早寝早起き朝ごはんといった基本とされるものができていないのは、お店があいているという状況もあるのだと思う。

【意見】

引きこもりについて、東京での事例で校則を全廃したことによって自由な環境づくりに成功しているところがあると聞いて見学しに行ったことがある。北谷町のほうでもワクワクする学校づくりができれば、いいと思う。

【意見】

今の意見を聞いて、学校の固定観念を崩すというのは大切だと思う。制服を着る着ない、テスト宿題が本当に必要なのか。子供たちのストレス、先生のストレスというものはあると思う。ノートを取る進めて方ではなく、ディスカッションはじめとした、授業で起きたことを理解して誰かに伝えるということを通して個々の授業理解度を図るなどはできないだろうか。

以上

審議会日時:令和2年7月18日(土)14時00分

地区名:宮城区公民館 参加者:13名

町事務局 4名 ぎょうせい 3名 イスコ 2名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【意見】

宮城区は観光の方が多く観光民泊専用が多い。地価が高くなって住宅を売り払って出ていく方も多い。特に4班、5班に民泊が増えている。班の持続に不安あり。班の加入が減っている。

【意見】

民博専用の住宅が増えている

最近は何回も増えてきている。地域から民泊専用の家に騒音等で苦情が多い。また、人が集まる分車が多く、迷惑駐車も苦情も多い。

駐車場問題について、以前、遊歩道を駐車場にしたかどうかという意見があった。

【意見】

宮城地区は昭和30年代後半から埋め立てが進み活気あるまちになったが、同じ西海岸の美浜、ハンビー地区に比べ住宅が密集しており発展していない。宮城地区を美浜、ハンビー地区同様に活気あるまちに発展させてほしい。

【意見】

サンセットビューライン構想を立ち上げているが、宮城地区が発展していくためには西海岸、港からヒルトンのほうへ橋をかけてほしい。

【意見】

宮城地区に40年近く住んでいるが、最近誰かわからない外国人が多い。地域にいるが所在が不明とのこと。勝手に住んで、騒いで、把握できない。行政が住所・氏名を把握して欲しい。また、ゴミ問題も迷惑。地域活性化のために外国人問題を解決して欲しい。

【意見】

宮城地区は高齢化が進んでいる。

道路構造が斜めになっているので、歩道のバリアフリー化を検討して欲しい。車いすが通らない場所もある。

【意見】

少年野球の指導をしている。目標6の「豊かな心と夢あふれる教育・文化・スポーツのまち」についてグローバル化への対応が遅れている。

宮城地区は外国人の子どもが多いが、一部のチームで日本語が話せない理由で野球チームに入れない状況にある。町で環境を整えて欲しい。スポーツ少年団と連携が取れないか検討して欲しい。

言葉の壁はあるが、子どもたちはコミュニケーション能力が高いので、うまくいくのではないかと。

【意見】

10年計画は素晴らしいが、以前から懇談会で問題視されている案件がある。たとえば交通関係。信号機設置(事故が多いところ)、交差点など。役場に問い合わせるが、設置の順番があるとのこと。解決していない。交通事故は順番では決められないのではないか。身近なところから解決してほしい。

宮城地区公園の滑り台が滑らない。コンクリートの整備、公園の除草など、身近なところから10年計画を進めて欲しい。

【要望】

外国人と情報共有しながら住みたい。スクールゾーンの減速を促す表示、信号設置、標識を外国人、観光客が分かるように英語表記がほしい。

【意見】

沖縄市のある地区には英語表記がある。なぜ北谷町にないのかと思う。

【要望】

港の一方通行に駐車している車があり、救急車等大型車両が通れない。違反取り締まってほしい。

【要望】

謝苜入り口の十字路近くが、30年後鉄軌道の駅になると発表されたが、それを踏まえながら10年計画に道の駅、博物館を作って企業を誘致して欲しい。

以上

審議会日時:令和2年7月18日(土)18時00分

地区名:砂辺区公民館 参加者:10名

町事務局 4名 ぎょうせい 3名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【意見】

砂辺地区は西海岸に面した自然豊かな海岸線のあるまち。後世に残したい砂辺の浜もある。平和学習、学習推進のための遺跡も残したい。

西海岸整備事業進捗状況について、馬場公園は、今年4月に遊具が整備された。また、馬場公園の近く砂辺の浜及び馬場公園西側の海岸地区が県管理になっているが、町民が利用しやすい環境づくりには、県管理ではなく町管理が望ましい。県管理では交渉が進まない。

西海岸整備事業の位置づけについて回答願います。

【回答】

西海岸沿いの道路の改修事業は土木課の案件で設計は終わっているが、まだ着手できていない。担当課へ進捗状況を確認する。

無願埋め立て地については、県管理になっている。町としても汚染状況を公表して次に繋げていきたいが、未だに要請して県の回答待ちの状況。県との協議を進める。

【質問】

浜も含めて県管理か

【回答】

別の担当部署になるので確認したい

【質問】

関連して、砂辺海岸沿い北側の所が台風の度に土地が削られて減っている。護岸ができていない所が削られている。中部土木、町へ対策をお願いしている。どう対策を考えているのか。また、砂辺は防衛庁土地を買い上げ虫食い状態になっている。町としての活用は、飛び飛びの土地については。

【回答】

砂辺北側の自然海岸の浸食については県へ要請中。進捗状況の確認をする。防衛庁が買い上げた土地は、今年度パークゴルフ場の実施計画がある。飛び飛びの土地については、防衛庁が民間へ貸し出しを予定。どこを貸し出すのかについては今情報が無い。

【質問】

人口減少というが、住民票のない人がいるなかで、どの程度把握しているか。基地外居住軍人・軍属データが公表されていないが、まちづくり、防災、道路整備にも関係してくるのではないだろうか？

【回答】

基地外居住軍人・軍属データが公表されていないので正確な数値は把握できていないが、町の過去の調査では4,000人位いた。今年度、日本国内軍人軍属の調査を予定している。

それ以外の方の実態把握が難しいが、分析を進めている。結果まとまり次第公表する。

【質問】

将来、5G社会。町でもそうなり、財政計画も含め計画を進める予定か。

【回答】

基本はそうです。詳細は申し上げられないが基本はその流れです。

これから少子高齢化の流れがやってくる。その中で職員の数が減っていく中で注力しないといけない部分に職員を割く。業務を効率化して進めていくため、重点的に進めていくためには人を割くことは必要になる。新しい技術の取り入れ避けられない。

【意見】

ロボット対応やパソコンについて、年寄りにはついていけない。

【回答】

全てそうなることはあり得ない。当然、むつかしいと感じる方のサポートをするような形は必要。人のつながりはなくなるならない。効率よく進める部分とのすみ分けはされるべきである。

【質問】

資料は参加者に配られているが、町民にも幅広く意見をいただくために、今回の資料を冊子化して配布の予定あるのか。

【回答】

冊子化は予算確保が厳しい。HPでは閲覧可能。

各区から情報共有が足りないのご意見はあり、町民の参画には自治会のご協力いただきながら、資料をより多くの人に見ていただいて広く意見を頂けるような取り組みの工夫を考えている。

以上

審議会日時:令和2年7月19日(日)10時00分

地区名:宇地原区公民館 参加者:15名

町事務局3名 ぎょうせい3名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【質問】

北谷町の観光地域だが、北前から美浜まで土日に大渋滞する。
交通網の整備についてや、観光客の方も公共のバス、北谷町のC-BUS、美浜観光協会の自動運転の車両、高速船を利用しながら、交通網の整備、渋滞の緩和をどう考えているのか。

【回答】

ハード面:道路整備について、都市計画マスタープランと総合計画の方向性と併せて整合をはかり10年間で整備していくために記されてくるもの。現在はまだ定まっていない。

ソフト面:C-BUSは令和3年まで実証実験中で、その成果を見て判断する。現在の状況では採算性の面で厳しい状況にある。収益を含め民間事業として判断か、採算は度外視し、福祉分野で活用していくか、さらに検討し、来年までに結論を出す。抜本的な改革が必要。

自動運転は国の事業として実施している。今後は地元事業者の事業化がポイントになる。
高速船は今、止まっている。あまり利用されなかった。採算が取れてこそ事業継続できるということはついてくる。公共の事業とはいえ全て賄うことはできない。少しでも利用してもらえる環境に変えていく必要がある。

【質問】

住民アンケート4-19 宇地原区居住環境の向上については、60%が満足していないということ。
4-23 適切な土地利用の誘導については、満足度が低く、重要度が高い。宇治原区の居住環境について適切な土地利用のありかたについて、今後10年間どう運営していくのか。

【質問】

行政側の土地利用のあり方はどうか、道路が出来ても住宅ではなく墓地となっている。
人口は少なくなっていると思う。これを反映させることをお願いしたい。今後の10年間の計画どう考えているのか。

【回答】

計画はこれから作っていかうとしているものなので今お答えできない。謝苅区・北玉区は、居住環境の満足度はもっと低かった。宇地原は比較的高い。アンケート結果からすると全体的に低くない。ご意見いただければ、今後、都市マスタープランに反映して方向性をきめていく材料になる。

【質問】

北谷町は事業計画に余裕があるとのことだが、家賃が高く、宇地原区は高齢者が多い。住宅環境としてアパートが借りられない。生活保護をあてても宇地原区には住めない。差額分を北谷町の予算から充当できないか。この計画に含まれるのか。

計画について、具体的に何をどこに伝えたらいいのか。

また、懇談会では、課題が出ていて良く、これを進めることと思う。参加して良かった。

【回答】

家賃補助は意見として伺い、伝える。

具体的には住生活基本計画の中で課題として、今後の総合計画で対応していくと思っている。総合計画は全分野、広く浅く策定されており、明確に対応できないが、質問があれば回答していきたい。

【質問】

キャンプ桑江南側の返還は、平成19年と思うが、返還時期はいつか。3/31北谷城跡が返還されたが今後の計画は？

将来的に米軍基地キャンプ瑞慶覧返還されたらどう扱っていかうとしているのか。

自然とともにの成果で、飼犬の登録があるか、ペット環境被害にネコは含まれているか。

【回答】

キャンプ桑江南側の返還について、日米協議によって2025年またはその後の予定。代替施設完成が返還条件。海軍病院は移転された。学校は建設中。住宅は進んでいない。キャンプ瑞慶覧（北谷城）返還については、3月31日に返還。日本政府が返還受取り地主引渡し後整備予定。地権者の意見を聞きながら、跡地利用を進めていくことになっている。ネコについての法律はなく、相互に配慮しながら飼育するのが現状。

【質問】

ネコはペット(野生)でない位置づけなのか。以前は捕獲していたのでは？野生だと関係ないのか。被害を避ける方法を提案して。伝染病の対応してもらえるのか。

【回答】

飼い方のマナーの問題。行政で何かするという事は難しい。全国的に各地で聞かれる状況。捕獲すると動物の虐待につながる。ネコは有害鳥獣に規定されていない。自衛手段しかない。

避妊手術をボランティアで行い、増えない取り組みを行っている。ネコ伝染病については、すぐに対応できるか回答しかねる。保健相談センターへ問い合わせ願います。

【意見】

北谷城跡返還地を特色ある魅力ある城下町として計画してほしい。58号伊平あたり、大型ショッピングモールが出来ても特色がない。

【回答】

今後のまちづくりのご意見として計画に生かす。北谷城について魅力ある整備を進めたい。

【意見】

LINEで町の情報が取れない。道の駅ぎのぎを見てきたが、LINEで情報が取れる。白比川の氾濫が凄いので、対策をお願いします。

【回答】

情報共有として町としてHP及び防災無線で情報発信。あとは公報紙等、LINEは検討課題。白比川は県の管轄。町としても氾濫の把握はしており、改修しているが、県に川幅の拡張を要望している。ご理解いただきたい。

【要望】

5次総合計画基本計画基本理念目標1「平和の心を育み、個性が輝くまち」について、町長は、「平和の心」を政治理念としているが、平和を考える施設が整備されていない。宇地区区内（防壕）施設がある。整備して平和のことを周知してほしい。悲しい歴史を伝えるために必要。

【要望】

北谷町城跡に夕日スポットを作してほしい。北谷城について。謝苺区は遠く、ビーチは近い。この近くにベストスポットをつくったら。

【回答】

国指定に向けて具申行う。今後、城公園で整備。来年度以降、保存活用計画策定するので、夕日スポットの提案は意見として担当課へ引き継ぐ。

【要望】

城は国指定整備とのことだが、白比川と併せて整備しまちづくりをしてほしい

【回答】

意見としていただきます。

【要望】

北谷城周辺を一体化した地域づくりを進められたい。

以上

審議会日時:令和2年7月19日(日)14時00分

地区名:美浜区公民館 参加者:17名

町事務局 4名 ぎょうせい 3名 イスコ 2名

会議内容

■ニライの都市構想会議資料に沿って報告

【質問】

目標2に引きこもり8050対応を入れた理由は、健康等に含まれると思うのだが

【回答】

施策12 就業者支援課題関連で担当部署より就業に結び付けている8050問題として挙がってきている。健康面でも関連するが、こちらは商業面からここにのせられている。

【意見】

標5に飼い犬はあるが、地域猫活動であるさくらねこ無料不妊手術事業というボランティアも追記して欲しい。

【回答】

担当部署から上がってきており、追記する。

【質問】

将来像の響きがいいが、これだけでは理解不能、何をしたいのか分からない。サブタイトルをつけるなどでわかるようにしてほしい。近江商人の三方良しというのがあり、お客さん、地域のみんなが良し。北谷にあてはめて、住人、観光客、地元民にとって良し。のようすべき。

フィッシャリーナが活用されてない。あのまま放っておくのか。観光客が見ても何か分からない。

台風時期に停電が多い。観光地は電線を地中化し停電しないが、その他の地区は停電する。やるならまちのために美浜地区全体に波及すべき。

将来像コンセプトを三方良しに照らし合わせて具体化することが大事では…三方良しとはならない方がいい方法はないのか？

【回答】

ご意見としていただく

【質問】

井の中の蛙にならないために、他の市町村の実態を研究・活用を含めてのスタンスは町にはないのか

【回答】

他自治体比較、事例調査等を取り入れ、今後さらに検討を進めていく。

【意見】

北谷町の歴史の文言が出ていない。どんなまちか表現がない。北谷町が歩んできた歴史がある。イギリスの難破船を助けた話。北谷長老（おぼうさん）がいたこと。昔は嘉手納と一つの村だった。戦争など。歴史を子どもたちに伝えたい。

【回答】

歴史を学び伝えていくこと大事なこと。総合計画前段でも北谷町の歴史を書いている。生涯学習等でさらに伝えていく活動を進めるべき。

【意見】

住民アンケート結果は分かりやすくいいが、具体的に結果を将来像に繋げていくプロセスはあるのか。

【回答】

第5次計画前期基本構想を策定する際に、すべての年代・行政区において住民アンケート実施。

結果としてはすべての年代・すべての行政区において住民誰もが住みやすい、安全・安心なまちという回答が多かった。住民アンケートの結果を踏まえ、第5次総合計画の将来像として地域に愛着と誇りを持つ住民、事業所、行政が互いに尊重、補完し合い協働のまちづくりに取り組む位置づけとして、アンケート結果を計画に反映している。

【質問】

高校生、および住民のアンケート結果に、交通の便が悪い、通勤・通学が不便と上位にあるが、今以上に交通の手段を増やす計画はあるのか。また第6次計画に反映されていく予定はあるのか。

【回答】

現在の交通手段としてコミュニティーC-BUSの実験、また美浜地区においては皆様のご理解ご協力もいただきカート走行を行っている。今後において交通手段を増やす予定はないが、カート走行を今後事業化に向けて検討していく事になっている。またコミュニティーC-BUSについても利用率低迷、それに伴い費用をどのように抑えつつ皆様に利用していただくシステムの検討している。道路交通網整備としては県道24号線バイパス整備、併せて国道58号線拡幅を要請している。

【意見】

道路の拡張、拡幅の際、自転車の台数が増えてきているため、車を運転するドライバーからすると危険なので自転車道を計画に入れていただきたい。

【回答】

意見としていただきます。

【質問】

協働まちづくりの関係について、第5次で条例を推進するために検討となっていたが、これまでどういう形で進められていたか、また2年に1度の行政懇談会や様々な形で協働まちづくりは町民、事業所の声を反映すべきでは？今後どう進めていくのか？

【回答】

現計画で位置づけられた協働まちづくり条例制定検討について、一昨年、愛知県の高浜市では町内会での活動が活発で行政とまちづくりを推進しているという話を伺い、高浜市の職員を招き講演会で取り組みを発表していただいた。その際には自治会長も招き、一緒に話を聞いていただいたが、発表いただいた高浜市の取り組みは自治基本条例が制定されていて精度が高く、いきなり、この段階へもっていくのは難しいだろうとのことで、昨年、役場内部で、できる場所は何か、何かから進めていくかという議論を進めたが、目指す方向、協働の定義が人それぞれ違うため定まっておらず課題となっている。

おっしゃっていたように行政懇談会で意見をいただき、それに対応するものが協働、または実際に一緒にまちづくりを推進していくことが協働という話もある。協働の定義をどこに標準を定めるのが重要なのかという議論を進めていかなければならないのが現状である。

また昨年度の業務を進めていく課題として町民の皆様に対しての情報発信があまり進んでいないことが上がっている。まずは行政内部の取り組みを情報発信としてできるところから少しずつ進めていく。

協働となると、職員だけが実行するものではなく町民の皆様にも動いていただかないといけない場面もあるが、町民の皆様にも生活があり、その中で如何にしてまちづくりに携わっていただけるかの工夫、また取り組みについての議論も必要であり、現計画で積み残しの課題で残っているが、今後引き続き進めていかなければならない分野と考えている。

【質問】

交通の問題、併せて土地利用の関係について、第5次計画の際に住んでみたいまち、住んで良かったまちとアンケート結果が出ている。ただ同時に交通の便が悪い、家賃が高騰してきているため住み続けたいが住めなくなっている状況が生まれている。

その課題に対して、外から来た方が住むため、町民が住み続けるための施策、例として県営住宅誘致等のアプローチを行っているのか？

もう1点として道路について、観光地化して多くの車両と人間が行き交い交通混雑があるが、県の21世紀ビジョンも含めて、鉄軌道のアプローチ計画あるのか。

【回答】

まず住宅の施策に関して、住生活基本計画の策定をあげており、中身として県営住宅建て替えの要請、生活保護水準で住宅が借りられない方の対応、施策の議論を進めている。総合計画では細かい事業に触れないが、大きな方向性としては示していく必要性があり、今後計画を作っていく中で取り上げていく必要があると認識している。

鉄軌道については、一度町を通り、沖縄市、うるま市を通る案が示されたが、その後県から情報はなく、鉄軌道が通る場合は返還地を取り込んで、別の行政懇談会でもあった道の駅整備の意見を念頭に計画を検討。

【質問】

まちづくり目標4のタイトル変更要望。「だれもが住みたくなる、安心、安全なまち」の「だれもが住みたくなる」についてはクリアしていると思うので、変更するなら「だれもが住み続けられる」とかSDGsの文言を取り入れることは可能か。

【回答】

6次計画から新しくタイトルを考えていくことになる。SDGsは5次計画から施策に目標数値を掲げていた。6次計画も目標数値を掲げていくので、SDGsの目標項目と連動を検討中

【意見】

町民の人たちにSDGsをわかりやすく説明できれば良いのだが

【回答】

いろんな機会を通じて説明をしていく必要があるが、国の課題でもあるので、町としてはSDGsをローカライズして取り入れ、この形を説明していくことになる。

【質問】

コロナ禍の影響で観光が立ち行かなくなるのでは。この機会なので、観光に変わる産業を見出す必要があるのではないのか。

【回答】

観光を中心としている町としてはかなり大きな打撃となっており観光に変わる産業については今、必要な課題と考えている。「まち・ひと・しごと・創生基本方針」で示された雇用の維持と事業の継続、経済活動の回復、強靱な経済構造、感染症対策、デジタルトランスフォーメーションでのコロナ対応型スーパーシティ構想があり北谷町にあっている。このような動向を取り入れていくことは非常に重要である。

【意見】

だれもが住みたくなる安全・安心なまちで、行政懇談会にて、国道58号線バイクの音量防音対策、Nシステムを利用して、録画、音チェック、具体的な対応は取られていないのか。また対策が取られていないのであれば今後どうしていくのか。県警以外の問題で対策が取られていないのであれば、背景も教えてほしい。

【回答】

騒音についての取り締まりは公害と言い切れるか難しく、取り締まりが難しいのが現状。計画に施策は今後検討。

本日の説明資料に入っていないが、総合計画の施策として暴走族対策として位置づけされ含まれているが、ただ、近年積極的に取り組まれているが実情。担当部署につなげていく。

【質問】

米軍基地返還の2025年以降、「知の拠点」の進捗はどうなっているか。大学誘致、スポーツ施設を作るとか計画はあるのか。併せて北谷公園の利用の仕方、中学移転、町営体育館の計画はあるの

か。

【回答】

総合計画を作るにあたって相対的にお話しします。地域によって違うが各区共通して言える事が少子高齢化、住みやすいまちづくり対策に要望あり。交通に関しては沖縄県がハード整備しているが限界があり。将来の鉄軌道に向けて町内で何ができるか考えている。インフラ投資から「知の拠点」として伝統文化、人材育成、歴史の伝承に関わるボランティアの活躍する場を作ってほしい要望あり。SDGsは、民間とのコラボ事業可能。あらたな総合計画作りへつなげていく。

【質問】

アンケート回答の提案書を提出したが、回答はいただけるのか。

【回答】

アンケート集計が出たばかりで、自由意見も集計中。自由意見について、一般的には個別には回答しない。ただしその中から分類して計画に取り入れるのが、アンケートの趣旨になり、そのように取り扱います。

回答が欲しい場合はパブリックコメント、町長へ手紙を。アンケートの自由意見には基本的に回答をしない。

以上

